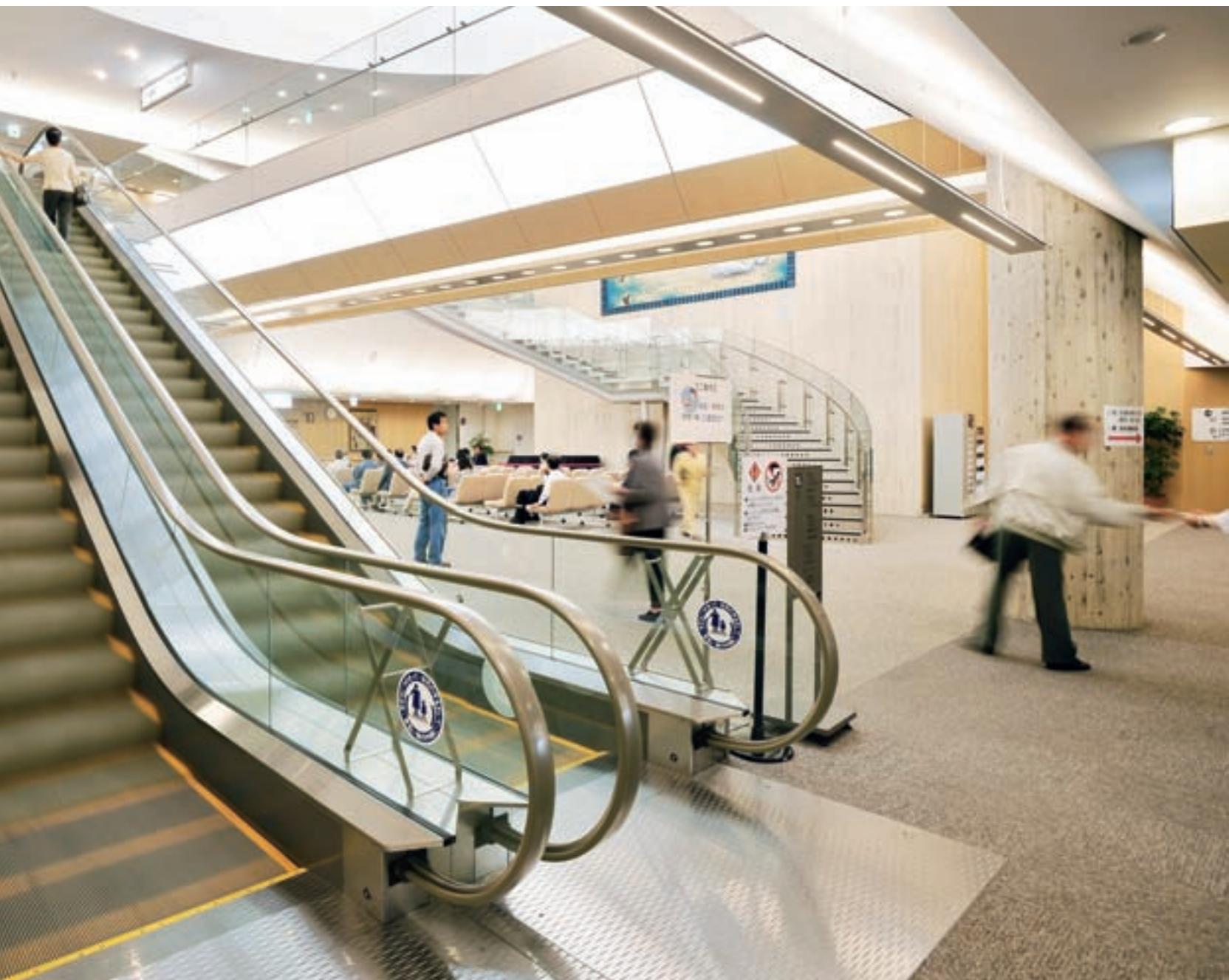


平成21年度
医療連携のための
病院機能情報

金沢医科大学病院

特定機能病院・日本医療機能評価機構認定病院(Ver.5.0)



Kanazawa Medical University Hospital

病院の理念

私たちは「生命への畏敬」を医療活動の原点として次のような病院を目指します。

- 患者さま中心の安全で質の高い医療を提供します。
- 人間性豊かで有能な医療人を育成します。
- 新しい医療の研究・開発を推進します。
- 地域の医療機関と協力し地域の医療福祉の向上に貢献します。

病院運営の基本方針

1. 患者さま中心の病院運営を行います。
2. 安全で信頼される医療の提供に最善を尽くします。
3. 患者さま・ご家族への“説明と同意”を徹底します。
4. 高度先進医療、質の高いチーム医療を推進します。
5. 地域の中核医療機関として地域医療連携・支援を推進します。
6. 良医の育成と医療人の教育・研修を推進します。
7. 働き甲斐のある健全で活力ある病院づくりに努めます。

病院機能評価認定

当院は2007年1月22日付けで日本医療機能評価機構より病院機能評価（審査体制区分4 Ver.5.0）の認定を受けました。病院機能評価とは、第三者機関である財団法人日本医療機能評価機構が医療機関の機能を多方面にわたって評価を行うものです。

このたびの認定にあたり、今後とも患者さま中心の安全で質の高い医療の提供を推進すべく新たな気持ちで努力する所存です。

病院長 飯塚 秀明



モットー

いつでも 誰でも 安心してかかるる病院

患者さまの権利

当院は、医療の中心は患者さまであると認識し、患者さまには次のような権利があることを宣言します。

- 安全で良質な医療を公平に受けることができます。
- 病気や治療内容について、分かりやすい言葉で説明を受け、ご自分の希望や意見を述べることができます。
- ご自分の意思で治療方法や医療機関を選択することができます。
- 診療記録の開示を求めるすることができます。
- 他の医療機関に受診することを希望されるときは、必要な情報提供を受けることができます。
- プライバシーは尊重され、個人情報は厳重に保護されます。
- 臨床研究に関して充分な説明を受けたうえで、その研究に参加するかどうかご自分の意思で決定できます。また、いつでも参加を取り消すことができます。

患者さまへのお願い

当院は、大学病院としての社会的使命を果たすため、様々な医療を提供しています。

患者さまには、次のことをご理解いただき適切な医療を行うためご協力くださいますようお願いいたします。

- 健康状態、その他必要なことを可能な限り正確にお話しください。
- 説明を受けてもよく理解できない場合は納得できるまでお聞きください。
- 治療を受ける場合は、医療スタッフの指示に基づき療養してください。
- 病院のルールを守り、他の患者さまの迷惑にならないようご配慮ください。
- 当院は教育・研修施設として医学生・看護学生等の臨床教育実習を行っておりますので、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

目 次

○患者さま中心の医療連携をめざして／病院長あいさつ	1
○地域がん診療連携拠点病院の紹介	43
○参加可能な症例検討会・各種検討会一覧	48
○地域医療連携部の紹介	51
患者紹介システムの案内	52
患者紹介に関するお問い合わせ先	53
本院へのご意見等について	53
○セカンドオピニオン外来のご案内	54
○検査予約システムのご案内	54
○金沢医科大学病院登録医制度のご案内	55
○病院概要	56
診療受付時間と休診日	56
施設基準の規定にもとづく年間手術実施件数	56
高度先進医療	57
最先端診断・治療機器の紹介	57
金沢医科大学病院組織図（平成21年6月10日現在）	58

診療科紹介

循環器科	
循環器内科	4
胸部心臓血管外科	5
呼吸器科	
呼吸器内科	6
呼吸器外科	7
消化器科	
消化器内科	8
一般・消化器外科	9
乳腺・内分泌外科	10
腎・泌尿器科	
腎臓内科	11
泌尿器科	12
内分泌・代謝科	13
血液・リウマチ膠原病科	14
脳脊髄神経科	
神経内科	15
脳神経外科	16
高齢医学科	17
小児医学科	
小児科	18
小児外科	19
精神医学科	
神経科精神科	20
心身医学科	21
放射線科	22
整形外科（骨・関節・脊椎・末梢神経）	23
形成外科	24
眼科	25
耳鼻咽喉科	26
頭頸部外科	27
皮膚科	28
産科婦人科	29
総合診療科	30
麻酔科	31
リハビリテーション医学科	32
内視鏡科	33
救命救急科	34
病理診断科	35
歯科口腔科	36

21世紀集学的医療センター紹介

集学的がん治療センター	38
生活習慣病センター	39
健康管理センター	40
遺伝子医療センター	41
女性総合医療センター	42

患者さま中心の医療連携をめざして



横山副院長
(総務・臨床教育担当)

松井副院長
(医事・医療情報担当)

飯塚病院長

梅副院長
(診療担当)

宮本副院長
(看護・業務改善担当)

病院長あいさつ

平素から病診・病病連携に深いご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

私どもは、地域の医療機関と協力して地域の医療福祉の向上に貢献することを病院の理念に掲げ、地域の中核医療機関として地域の医療連携・医療支援を推進することを病院運営の基本方針として活動してまいりました。また、特定機能病院として先進医療の提供、患者さまへの安全で質の高い医療の提供に日々努めてまいりました。

平成15年9月に新病棟・外来を中心とした「病院新館」が竣工し、平成18年12月には中央放射線部を中心とした「病院第2新館」が竣工、PET-CTやリニアックなどの最新の診断・治療機器を整備し、診療機能をより一層充実いたしました。平成19年1月には病院機能評価Ver.5.0の認定を受けると同時に地域がん診療連携拠点病院にも指定され、関連各科の協調による集学的がん診療機能の整備・充実を図り、集学的がん治療センターにおいて本格的な外来化学療法の実施を開始いたしました。

平成21年3月には病院別館改修が完了し、救急医療センターのリニューアル化、入院・外来ドックの機能的な充実、回復期リハビリテーション病棟や精神科病棟のリニューアル化など、入院機能及び療養環境を大幅に改善・充実いたしました。

本年度は、MRIの更新などのほか、乳腺・内分泌外科、頭頸部外科、病理診断科、女性総合医療センターなど専門医を擁して特色ある診療科を新設いたしました。

今後とも地域の医療機関との診療連携を充実強化して、患者さま中心の安全で安心な質の高い医療の提供を推進するとともに、「安心して紹介できる」病院となるべく職員一同、努力して参りますので、皆様のご支援とご協力を賜りますようよろしくお願ひいたします。

- 紹介患者さまは、専用のカウンターにて受付し、専任の担当者がご案内いたします。
- 紹介患者さまは、優先的に診療を行い、待ち時間の短縮に努めています。
- ご紹介をいただいた医療機関へ迅速な返書を心がけ、積極的に逆紹介をしています。

病院長 飯塚 秀明

循環器科
循環器内科
胸部心臓血管外科
呼吸器科
呼吸器内科
呼吸器外科
消化器科
消化器内科
一般・消化器外科
乳腺・内分泌外科
腎・泌尿器科
腎臓内科
泌尿器科
内分泌・代謝科
血液・リウマチ膠原病科
脳脊髄神経科
神経内科
脳神経外科
高齢医学科
小児医学科
小児科
小児外科
精神医学科
神経科精神科
心身医学科
放射線科
整形外科（骨・関節・脊椎・末梢神経）
形成外科
眼 科
耳鼻咽喉科
頭頸部外科
皮膚科
産科婦人科
総合診療科
麻酔科
リハビリテーション医学科
内視鏡科
救命救急科
病理診断科
歯科口腔科

診

療

科

紹

介

循環器科

循環器内科

責任者と診療スタッフ



科長／教授 梶波康二

【専門分野】循環器病一般、高脂血症、動脈硬化

学歴／金沢大学医学部、金沢大学大学院卒

職歴／金沢大学助手(1994)、金沢大学講師(1999)、金沢医科大学講師(1999)、金沢医科大学助教授(2001)、金沢医科大学教授(2004)

名誉教授 竹越 裕

【専門分野】循環器病一般、虚血性心疾患

准教授 浅地孝能

【専門分野】循環器病一般、心不全、高血圧症

准教授 北山道彦

【専門分野】循環器病一般、虚血性心疾患

講師 河合康幸

【専門分野】循環器病一般、虚血性心疾患

講師 赤尾浩慶

【専門分野】循環器病一般、虚血性心疾患

医師 藤岡 央

【専門分野】循環器病一般、不整脈

医師 佐藤良子

【専門分野】循環器病一般、虚血性心疾患

医師 紺野健一

【専門分野】循環器病一般、不整脈

医師 本山敦士

【専門分野】循環器病一般、虚血性心疾患

医師 岩垂瑞穂

【専門分野】循環器病一般、高血圧症

医師 若狭 稔

【専門分野】循環器病一般、心不全、心筋症

概要

近年、高血圧症や糖尿病、高脂血症などの“生活習慣病”が急増し、狭心症や心筋梗塞などの動脈硬化に起因する心血管病に対する対策が重要な課題となっています。当科では、最先端の医療機器や技術を導入し、これらの心血管病に対するさまざまな治療を行なっています。たとえば、狭心症や心筋梗塞などの患者さまには最新の薬物溶出性ステントなどを使用して冠動脈の拡張や再狭窄予防を行い、心房細動、心房粗動、心室性期外収縮、心室頻拍などの難治性頻脈性不整脈に対しては、カテーテル焼灼術や植え込み型除細動器を積極的に使用し治療にあたっています。

また重症心不全治療として両心室ペーシングによる再同期療法も行なっています。当院ハートセンターは高度の医療機器を備え、急性心筋梗塞、不安定狭心症、重症心不全、致死性不整脈などの患者さまに内科・外科の垣根を取り払った体制で集中治療を行ない、早期に元気で退院できるように心がけております。循環器疾患は状態が急変することも少なくなく、スタッフは緊急事態に速やかに対応し常に適切な医療を提供できるように、24時間体制で診療に臨んでいます。

特徴・特色

循環器の一般外来のほかに、専門外来として、PTCA外来、ペースメーク外来、動脈硬化・コレステロール外来、高血圧外来などを開設し、さまざまな循環器疾患に対応しています。また月曜日から土曜日まで常に数人の医師が外来担当し、予約外の患者さまや緊急の患者さまにも対応しています。

[専門外来一覧]

専門外来	診療日・時間
■高血圧外来	月・火
■PTCA外来	火・木・金(午前)
■ペースメーク外来	水・金
■動脈硬化／コレステロール外来	土(午前第1, 3週)

電話連絡先 **076-286-3511**(代表)

内線／外来受付 **4255-4256** 医局 **3200-3206-3207**

胸部心臓血管外科

責任者と診療スタッフ



教授 四方裕夫
【専門分野】
血管外科、胸部一般

准教授 飛田研二
【専門分野】
血管外科、血管無侵襲診断

講師 永吉靖弘
【専門分野】
心臓外科、ペースメーカー

講師 小畠貴司
【専門分野】
血管外科、ステントグラフト治療

医師 横手 淳
【専門分野】
心臓外科(先天性)

医師 清澤 旬
【専門分野】
心臓外科、ペースメーカー

医師 野口康久
【専門分野】
心臓外科、ペースメーカー

医師 水野史人
【専門分野】
胸部一般

医師 三上直宣
【専門分野】
胸部一般



科長／教授 秋田利明

【専門分野】先天性心疾患、虚血性心疾患、弁膜症、大血管

学歴／名古屋大学医学部・名古屋大学大学院卒

職歴／福井医科大学第2外科助手(1984)、名古屋第1赤十字病院心臓外科第4外科副部長(1994)、名古屋第1赤十字病院第2心臓血管外科部長(2001)、名古屋大学医学部胸部外科講師(2001)、社会保険中京病院心臓外科部長(2003)、名古屋大学医学部心臓外科講師(2004)、金沢医科大学心血管外科部門教授(2007)

概要

当科は、心臓外科医と血管外科医が合同で心臓・血管疾患に関するすべての領域の外科治療やカテーテル治療による低侵襲治療を総合的に行ってています。心臓外科グループは、平成19年9月に松原純一名誉教授(血管外科)から秋田利明(心臓外科)が部門教授を引き継ぎ、新生児・乳児期の複雑心奇形を含めた先天性心疾患の外科治療を開始しました。小児循環器科とともに金沢医科大学病院が石川県の小児心臓医療センターとして機能すべく日夜がんばっています。先々代の清水健名誉教授(心臓外科)からのテーマである重症心不全、重症虚血性心疾患の外科治療を発展すべく、左室形成

術、僧帽弁形成術、両心室ペーシングには、基礎実験を含めて取り組み、良好な臨床成績をだしています。胸部大動脈瘤に関しては血管グループと十分な討議を行い、可能であればステントグラフト治療による低侵襲治療を行い、適応困難であれば手術治療を行い、ともに非常に良好な成績を上げています。

特徴・特色

【心臓外科】

新たに開始した新生児・乳児の複雑心奇形の外科治療を含めて、弁膜症、虚血性心疾患、胸部大動脈瘤、不整脈疾患など、すべての心臓外科領域の手術に対応しているのが当科の特徴です。

【血管外科】

閉塞性動脈硬化症に対するバイパス手術、動脈瘤手術、下肢静脈瘤手術など通常の外科治療のみならず、経皮的血管形成術(PTA)、ステントグラフト内挿術、静脈瘤の硬化療法などの低侵襲治療を積極的に行ってています。多汗症の治療として、胸腔鏡を用いた胸部交感神経焼灼術を行なっています。そして深部静脈血栓症ならびに肺塞栓症の治療や透析症例の内シャント作成も行っています。

[専門外来一覧]

専門外来	診療日・時間
■血管外科外来	月～土
■心臓病外来(弁膜症、狭心症、先天性心疾患)	月～土
■動脈硬化・動脈瘤外来	月～土
■狭心症・心筋梗塞外来	金・土
■ペースメーカー外来	木
■静脈瘤外来	月～土

電話連絡先 **076-286-3511** (代表)

内線／外来受付 **4255-4256** 医局 **3114**

呼吸器科

呼吸器内科

責任者と診療スタッフ



科長／教授 梅 博久

【専門分野】呼吸器病一般、睡眠時無呼吸症候群

学歴／金沢大学医学部卒

職歴／金沢医科大学助手(1979)、金沢医科大学講師(1989)、金沢医科大学助教授(1994)、金沢医科大学教授(2004)

准教授 長内和弘

【専門分野】
呼吸器病一般、気管支喘息、慢性閉塞性肺疾患

講師 井口晶晴

【専門分野】
呼吸器病一般、呼吸器感染症

医師 土原一真

【専門分野】
呼吸器病一般、呼吸不全

医師 中川 研

【専門分野】
呼吸器病一般、肺腫瘍

医師 及川 順

【専門分野】
呼吸器病一般、肺腫瘍

医師 藤本由貴

【専門分野】
呼吸器病一般、睡眠時無呼吸症候群

医師 小島好司

【専門分野】
呼吸器病一般、呼吸不全

概要

北陸初の呼吸器内科として発足した当科は、呼吸器センター (RCU) を呼吸器病棟(40床)に7床持ち、肺炎、肺気腫、気管支喘息などによる急性呼吸不全に、迅速に対応しています。近年、著しい増加傾向にある肺癌については、呼吸器外科、放射線科、病理部門と緊密な連携のもと、一環した診断・治療を行っております。睡眠時無呼吸症候群や間質性肺炎の診断・治療に関しても北陸地方の中心的役割を担っております。さらに流体力学や音波を応用した苦痛の少ない呼吸機能検査気道の形態計測を臨床応用も進めています。受け入れは、月曜から土曜日までの呼吸器内科外来または救急外来よりお願いします。睡眠時無呼吸症候群は睡眠障害センターとして毎日外来を受け付けています。急な入院を要する患者さまの紹介は、外来医長(中川)または病棟医長(及川)にご一報いただければ幸いです。

外来予定:梅(火・木)、長内(月・水)、小島(火)、及川(金)、土原(火・木)、中川(月・水)、藤本(金)

特徴・特色

呼吸器センター (RCU) を用いた呼吸不全の管理、病理・外科・放射線科との連携による肺炎・肺腫瘍の一貫した診断・治療、睡眠障害外来による睡眠時無呼吸症候群の診断と鼻CPAPによる形態診断・鼻CPAPによる効果的治療、喘息外来で精密肺機能による病状の把握と抗アレルギー薬を含む治療の選択。VATSによる診断・治療。

[専門外来一覧]

専門外来

- 睡眠障害外来
- 喘息外来
- いきぎれ外来

診療日・時間

- 火・木・土
- 水
- 金

電話連絡先 **076-286-3511** (代表)

内線／外来受付 **4225-4226** 医局 **3531-3535**

責任者と診療スタッフ



教授 佐川元保

【専門分野】

呼吸器外科一般、胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術、気管支鏡治療、肺癌集団検診、肺癌ドック

准教授 薄田勝男

【専門分野】

呼吸器外科一般、胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術、気管支鏡治療、肺癌集団検診、肺癌ドック

医師 相川広一

【専門分野】

呼吸器外科一般、胸腔鏡下肺手術、気管支鏡治療、肺癌ドック

医師 町田雄一郎

【専門分野】

呼吸器外科一般、胸腔鏡下肺手術、気管支鏡治療、肺癌ドック

医師 田中 良

【専門分野】

呼吸器外科一般、胸腔鏡下肺手術、気管支鏡治療、肺癌ドック

医師 上野正克

【専門分野】

呼吸器外科一般、胸腔鏡下肺手術、気管支鏡治療、肺癌ドック



科長／教授 佐久間 勉

【専門分野】呼吸器外科一般、胸腔鏡下手術、肺癌ドック

学歴／東北大学医学部卒

職歴／東北大学助手(1988)、カリフォルニア大学サンフランシスコ校研究員(1989)、仙台厚生病院外科医長(1992)、金沢医科大学講師(1997)、金沢医科大学助教授(2000)、金沢医科大学呼吸機能治療学(呼吸器外科)教授(特任)(2005)、金沢医科大学呼吸機能治療学(呼吸器外科学)教授・部門教授(2008)

概要

当科では肺、気管支、縦隔、胸壁、横隔膜等に発生した疾患を担当します。具体的には肺腫瘍(肺癌を含む)、気管気管支腫瘍、縦隔腫瘍、気胸、胸部外傷、臍胸等です。悪性腫瘍の治療に関しましては、定型的な手術以外に、気管気管支等に発生した難易度の高い手術、大血管切除をともなう侵襲の大きな手術、胸腔鏡を利用した低侵襲の手術を心がけています。特に胸腔鏡下手術を得意とし、それは低侵襲なため、手術後の痛みが少なく回復が早いため、入院期間を短くできるのが特徴です。病床数は12床で、定期手術日は月、水曜日です。外来は月曜日から土曜日まで毎日受け付けております。もちろ

ん、救急患者さまは時間外にも引き受けます。近年の肺癌患者数の増加とともに呼吸器外科で担当する手術件数は年々増加の一途をたどっています。当科は日本呼吸器外科学会の認定施設として石川県のみならず北陸地方の呼吸器外科の発展のために努力をしていきたいと考えております。

特徴・特色

呼吸器悪性疾患の外科的治療を最重点にいたしております。

高度先端技術を応用した先進医療をめざします。

集学的治療にて癌の根治をめざします。

患者さまにやさしい医療を心がけます。

[専門外来一覧]

専門外来	診療日・時間
■胸腔鏡治療外来	火・木・金
■気管支外来	木・金
■胸壁外来	木・土
■肺癌ドック	火・木・金

電話連絡先 **076-286-3511**(代表)
内線／外来受付 **4225・4226** 医局 **5721**

消化器科

消化器内科

責任者と診療スタッフ



科長／教授 有沢富康

【専門分野】消化器病一般、消化管病学

学歴／名古屋大学医学部

職歴／名古屋大学医学部卒業(1983)、愛知県総合保健センター消化器診断部室長(1989)、名古屋大学第2内科助手(1995)、藤田保健衛生大学消化器内科講師(2001)、同 助教授(2004)、現職(2008)

准教授 土島 瞳

【専門分野】
消化器病一般

講 師 尾崎一晶

【専門分野】
消化器病一般

医 師 白枝久和

【専門分野】
消化器病一般

医 師 矢野博一

【専門分野】
消化器病一般

医 師 大塚俊美

【専門分野】
消化器病一般

医 師 山田真善

【専門分野】
消化器病一般

医 師 福山智基

【専門分野】
消化器病一般

医 師 斎藤 隆

【専門分野】
消化器病一般

医 師 林 蘭仁

【専門分野】
消化器病一般



教 授 堤 幹宏

【専門分野】
消化器病一般、肝臓病学

概要

当科では消化管・肝臓・胆嚢・脾臓など、食物を吸収し処理する消化器臓器を対象とした内科診療を行っています。消化管の領域では、炎症性の疾患から近年その病態が明らかにされつつある機能性の異常まで幅広い診療を行なうと同時に内視鏡を用いた消化管癌の早期診断、治療にも力を入れています。また、消化管出血などに対する緊急内視鏡にも適宜対応しています。一方、各種肝疾患の治療では、ウィルス肝炎の治療や、肝癌に対するラジオ波焼灼療法、肝動脈塞栓療法により明らかに予後の改善を認めています。また、診断が困難とされる胆道・脾臓の疾患に対しても最新の各種画像診断を導入し、早期診断を行うように努めています。本医局の特色である過剰な飲酒に伴うアルコール性臓器障害に関しても、豊富な診療経験を基に高水準な診療を行っています。

特徴・特色

我が国ではなお胃・大腸など消化管の癌が多いのが現状ですが、当科では特殊光などを用い確実な癌の質的診断、存在診断を行い治療の適応を決定しております。また近年、高齢化社会を迎える消化器疾患に対する考え方も変貌してきておりますが、それに対応し問題となりつつある胃食道逆流症や機能性胃腸症、低用量アスピリンなどによる消化管出血、また若年者で増加しつつある炎症性腸疾患の対応にも力を入れております。さらに、日々進歩する各種肝臓疾患に対する対応に関しても最新の知見を基に対応しています。

[専門外来一覧]

専門外来

診療日・時間

電話連絡先 **076-286-3511**(代表)

内線／外来受付 **4255-4256** 医局 **3521**

消化器科

一般・消化器外科

責任者と診療スタッフ

准教授 中野泰治
【専門分野】
腹腔鏡手術、乳腺・内分泌の疾患

准教授 上田順彦

【専門分野】

腹腔鏡手術、肝・胆・脾の疾患

准教授 表 和彦

【専門分野】

腹腔鏡手術、胃・大腸の疾患

准教授 木南伸一
【専門分野】
センチネル手術、食堂・胃の疾患

講師 吉谷新一郎

【専門分野】

大腸・肛門の疾患

講師 舟木 洋

【専門分野】

食堂・胃の疾患

医師 横井美樹
【専門分野】
乳腺・内分泌の疾患、大腸の疾患

医師 細川謙藏

【専門分野】

一般外科・消化器外科



科長／教授 小坂健夫

【専門分野】腫瘍外科、胃・大腸の疾患

学歴／京都大学医学部・金沢大学大学院卒

職歴／金沢大学医学部医員(1979)、金沢大学附属病院助手(1986)、外務省巡回医師団(1989)、金沢医科大学助手(1991)、金沢医科大学講師(1992)、金沢医科大学助教授(1995)、米国マサチューセッツ工科大学留学visiting scientist(1999)、金沢医科大学教授(特任)(2005)、金沢医科大学病院長補佐(2007)

概要

診療内容は、食道、胃、十二指腸、小腸、大腸、肛門などの上部・下部消化管疾患、肝、胆、脾、胰、脾などの消化器疾患、ヘルニアなどの体壁・腹膜疾患、乳腺・甲状腺疾患、さらに腹部救急疾患を対象としています。良性疾患や早期癌に対しては、整容性に優れ、術後回復が良好な低侵襲手術(minimal invasive surgery)を行っています。さらに、胃切除術後の代用胃再建術など術後患者QOLに配慮した治療法の確立にも積極的に取り込んでいます。一方進行癌には標準手術を行い、合併症などの有害事象を極力低率にしています。また、高度進行癌例に対しては外科手術・抗癌剤・分子標的薬・放射線

治療などを組み合わせた集学的治療を行い、成果を上げています。さらに手術のみならず、抗癌剤治療においても、一人ひとりの患者に即したオーダーメイド治療を追求しています。外来は専任医師が担当しており、月曜日から土曜日まで連日診療を行っています。

特徴・特色

進行度、進展度に応じた低侵襲手術や縮小手術、標準手術および拡大手術の使い分けを基本とした外科治療を特色としています。低侵襲手術では内視鏡手術・腹腔鏡手術を積極的に導入しています。さらに手術のみならず、抗癌剤治療や緩和治療においても、一人ひとりの患者さんに即したオーダーメイド治療を追求しています。

[専門外来一覧]

専門外来	診療日・時間
■消化器外科	月～金
■一般外科	月～金
■人工肛門外来(ストーマ)	月～金

電話連絡先 **076-286-3511**(代表)

内線／外来受付 **4255-4256** 医局 **3127**

乳腺・内分泌外科

責任者と診療スタッフ



科長／教授 野口昌邦

【専門分野】乳癌および甲状腺癌の外科

学歴／金沢大学医学部卒

職歴／米国空軍病院インターン(1969)、金沢大学病院医員(1971)、金沢医科大学助手および講師(1975)、金沢大学付属病院助手および講師(1977)、米国ニューヨークスロンケタリング癌センター乳腺科留学(1985)、金沢大学付属病院助教授(1987)、中華人民共和国中日友好病院名誉教授(2006)、金沢大学付属病院乳腺科教授(特任)(2006)、金沢医科大学乳腺内分泌外科教授(特任)(2009)

准教授 中野泰治

【専門分野】

乳腺内分泌外科

医 師 横井美樹

【専門分野】

乳腺内分泌外科

概要

乳腺内分泌外科は乳癌および甲状腺癌を専門的に診療するために2009年4月に新しく発足しています。乳癌の診療は集学的アプローチが必要であり、診断は放射線科の協力のもとにマンモグラフィ、超音波検査、MRI検査、さらに積極的に針生検やマンモトームを行い、しこりとして触れない早期乳癌の発見に努めています。手術では乳房温存療法やセンチネルリンパ節生検、さらに乳房に傷の目立たない”Moving window”手術を開発するなど整容性に優れた乳癌手術を行っています。また、形成外科と協力して乳房切除術後の一期的乳房再建術を積極的に行い、全身療法は集学的のがん治療センターと協力し、質の高い治療を行っております。一方、甲状腺癌ではその病態に応じて豊富な経験から適切な手術を選択しております。

特徴・特色

乳房温存療法やセンチネルリンパ節生検などでは全国的に知られ、高い評価を受けておりますが、さらに乳輪周囲や脇の下などの目立たない部位にメスを加えて乳房温存手術を行うムービング・ウィンドー法による乳房温存手術や、腕の浮腫を予防するアーム法による腋窩リンパ節手術などを開発あるいは導入し、より進んだ乳癌手術を行っています。

[専門外来一覧]

専門外来

診療日・時間

電話連絡先 **076-286-3511**(代表)

内線／外来受付 **4255-4256** 医局 **3127**

責任者と診療スタッフ



教授(併) 友杉直久
【専門分野】
腎炎、ネフローゼ、慢性腎不全

准教授 浅香充宏

【専門分野】
腎移植、腎炎、透析

講師 山谷秀喜

【専門分野】
腎臓病一般、腎臓教室担当(水)

講師 奥山 宏

【専門分野】
腎臓病一般、腎炎、ネフローゼ
医師 近澤芳寛

【専門分野】
腎臓病一般

医師 中川 卓

【専門分野】
腎臓病一般、血液浄化

医師 渥美浩克

【専門分野】
腎臓病一般、腎移植

医師 井村淳子

【専門分野】
腎臓病一般

医師 藤本圭司

【専門分野】
腎臓病一般

医師 木村庄吾

【専門分野】
腎臓病一般



科長／教授 横山 仁

【専門分野】腎炎、ネフローゼ、腎不全、腎移植、血液浄化

学歴／金沢大学医学部・金沢大学大学院卒

職歴／金沢大学医学部附属病院血液浄化療法部助教授(1994)、金沢大学医学部附属病院血液浄化療法部助手(院内講師)(1993)、ハーバード大学医学部内科講師(1992)

概要

当腎臓内科では検尿異常の診断から血液浄化・腎移植まで幅広い治療を行っています。診断は腎生検と画像診断に基づき、確実かつ迅速に行っています。先天性腎疾患や多発性囊胞腎についての経験も豊かです。進行性腎疾患にはステロイドパルス療法や免疫抑制薬を積極的に使用し、難治性ネフローゼ、ルーブス腎炎やTTPなどには血漿交換、免疫吸着も実施しています。

保存期腎不全では適切な降圧療法による糸球体保護や低蛋白食療法を行ない、進行予防に努めています。また末期腎不全治療として合併症が少ない血液透析を目指すとともに、急性腎不全には持続

血液濾過透析も行い予後の向上に努めてきました。腎移植では術前・術後長期の管理を担当し成果を上げています。また腎機能の程度に応じた薬剤の使用法にも注意を払い、種々の電解質異常や酸塩基平衡異常の診断・治療にも長けています。

特徴・特色

検尿異常の診断から血液透析、腹膜透析(CAPD)による慢性腎不全治療、さらには究極の治療法である生体・死体腎移植まで、すべてをカバーする全国でも数少ない総合的な腎臓内科です。現在、専門病棟と血液浄化センターを一体運営しており、将来の腎臓病総合医療センターを目指しています。

[専門外来一覧]

専門外来

■腎臓病教室(慢性腎臓病の食事指導)

診療日・時間

第1水曜(11:00~12:30)

※祝日の場合は第2水曜

■腎移植登録外来

木(9:00~12:00)

電話連絡先 **076-286-3511**(代表)

内線／外来受付 **4153-4154** 医局 **3403**

責任者と診療スタッフ



科長／教授 鈴木孝治

【専門分野】泌尿器科一般、尿路結石、腎移植

学歴／金沢大学医学部卒

職歴／金沢医科大学泌尿生殖器治療学教授(1997)

准教授 宮澤克人

【専門分野】

泌尿器科一般、尿路結石、内分泌系疾患、前立腺癌

講師 森山 学

【専門分野】

泌尿器科一般、尿路結石、シャント、腎移植

医師 菅 幸大

【専門分野】

泌尿器科一般

医師 近澤逸平

【専門分野】

泌尿器科一般、尿失禁

医師 徳永亨介

【専門分野】

泌尿器科一般

医師 森田展代

【専門分野】

泌尿器科一般



教授 田中達朗

【専門分野】

泌尿器科一般、腎移植、尿路悪性腫瘍

概要

当科は、膀胱炎などの尿路感染症、尿路結石症、前立腺肥大症に代表される排尿障害、腎臓癌、膀胱癌、前立腺癌などの尿路悪性腫瘍、生体腎および死体腎移植など広い範囲の病気を扱っています。月曜から土曜日まで新患、再来を受け付けており、鈴木教授、田中教授、宮澤准教授、森山講師が週2回ずつ外来診察を担当しています。毎日専門分野に関係なく診察を行いその日のうちの診断、治療をこころがけています。

特徴・特色

尿路結石では、早くから内視鏡手術や体外衝撃波結石破碎術(ESWL)を行い症例数は5,000例を数えています。膀胱癌術後の尿路変更には、患者さまのQOLが低下しないような手術法を行っています。腎移植は北陸地方では280例以上と最も多い経験を持っており、全国に比較しても劣らない治療成績をあげています。また、2007年3月から前立腺癌に対する小線源永久挿入治療を開始しました。

[専門外来一覧]

専門外来

診療日・時間

■腎・尿管結石破碎相談

毎日

電話連絡先 **076-286-3511**(代表)

内線／外来受付 **4153-4154** 医局 **3314**

内分泌・代謝科

責任者と診療スタッフ

准教授 中川 淳

【専門分野】

糖尿病、甲状腺疾患、視床下部・下垂体疾患

講師 西澤 誠

【専門分野】

糖尿病、内分泌疾患

講師 津田真一

【専門分野】

糖尿病、内分泌疾患

医師 古屋圭介

【専門分野】

糖尿病、甲状腺疾患

医師 伊藤弘樹

【専門分野】

糖尿病、内分泌疾患

医師 藤井瑞枝

【専門分野】

糖尿病、内分泌疾患

医師 渥美久登

【専門分野】

糖尿病、内分泌疾患

医師 竹田 愛

【専門分野】

糖尿病、内分泌疾患



科長／教授 古家大祐

【専門分野】糖尿病、糖尿病腎症、腎不全、高血圧、内分泌疾患

学歴／滋賀医科大学医学部卒

職歴／千里保健医療センター新千里病院内科医員(1986)、滋賀医科大学医学部附属病院助手(1992)、ジョスリン糖尿病センター研究員(1994)、滋賀医科大学医学部附属病院講師(2004)、金沢医科大学医学部内分泌代謝制御学部門教授(2005)

概要

内分泌代謝科では、糖尿病、肥満症、脂質異常症、高尿酸血症などの“生活習慣病”といわれる代謝性疾患、ホルモン分泌異常による高血圧、間脳・下垂体疾患、甲状腺疾患、副腎疾患、性腺疾患などの内分泌疾患を主な対象として診断・治療を行っています。特に、患者数が著明に増加している糖尿病におきましては合併症の進展を阻止するために治療初期からの指導を重視しています。すなわち、医師による血糖値の管理を含む治療、栄養士による食事指導、看護師による生活指導を行いチーム医療として糖尿病治療に取り組み、糖尿病教室および糖尿病教育入院の体制を充実させています。検

査としては、糖尿病性三大合併症(神経症、網膜症、腎症)の進行度の評価に加え、個々の患者さまのインスリン分泌能および人工胰臓を用いたインスリン感受性の評価を行い治療に役立てています。さらに、血圧日内変動、頸動脈の超音波検査などにより全身の動脈硬化の進展度を調べる事により総合的な予防治療をめざしています。また甲状腺腫瘍にたいしては吸引細胞診を行い術前診断の向上と治療方針の決定に役立てています。

特徴・特色

当科では、糖尿病、甲状腺疾患を主体とする内分泌・代謝疾患に加え、高血圧、下垂体・副腎疾患および肥満などの専門外来を実施しております。当科を受診される患者さまには“生活習慣病”が多いため管理栄養士による外来個人栄養指導を毎日行っています。また、インスリン治療を行っている糖尿病患者さまには看護師による在宅指導を行い、共に治療効果をあげています。

[専門外来一覧]

専門外来	診療日・時間
■糖尿病外来	毎日
■甲状腺外来	毎日
■高血圧・副腎外来	毎日
■肥満外来	毎日

電話連絡先 **076-286-3511**(代表)

内線／外来受付 **4118・4119** 医局 **3305・8557**

血液・リウマチ膠原病科

責任者と診療スタッフ



科長／教授 梅原久範

【専門分野】リウマチ膠原病

学歴／慶應大学医学部卒

職歴／大阪歯科大学内科学講座助手(1992)、大阪歯科大学内科学講座講師(1997)、
大阪歯科大学内科学講座大学院助教授(1998)、京都大学医学研究科内科学講
座臨床免疫学助教授(2001)、金沢医科大学血液免疫制御学講座教授(2004)

准教授 福島俊洋

【専門分野】

血液疾患一般

准教授 正木康史

【専門分野】

血液疾患一般、自己免疫疾患

准教授 田中真生

【専門分野】

リウマチ膠原病

准教授 藤田義正

【専門分野】

リウマチ膠原病

医師 澤木俊興

【専門分野】

血液病一般、自己免疫疾患

教授(嘱託)廣瀬優子

【専門分野】

血液疾患一般、輸血療

概要

当科は血液疾患と自己免疫疾患・膠原病を担当しています。血液疾患としては白血病、悪性リンパ腫、骨髄腫などの血液悪性疾患が多く占めています。これらの疾患の診断・治療法の進歩は著しく、寛解率や治癒率が高まり、難治例においても病気と共に存を図る治療が可能となっています。従来の化学療法に加え、造血幹細胞移植、分子標的療法等を駆使して成績を向上させています。一方、自己免疫疾患・膠原病としては全身性エリテマトーデス、関節リウマチ、シェーグレン症候群、血管炎症候群などが中心となります。これらの疾患は多臓器の病変を伴うため患者をトータルに診る必要性があります。当科では以前より「シェーグレン症候群患者会」のサポートを行ってきましたが、2006年に、北陸3県のドクター、行政担当者、製薬メーカーに加わっていただき、「北陸膠原病支援ネットワーク」を組織し、膠原病患者支援を行なっています。今後は更に遺伝子治療、細胞療法、再生医療等様々な新しい治療法にも関わっていく予定です。

特徴・特色

リンパ増殖性疾患研究会、北陸臨床免疫研究会を主催し活発に討論が行われています。国際シェーグレン協力連盟SICCA、リンパ腫コントロールチームLCTなどの活動も行っています。JALSG、JCOG等、多施設共同治療研究にも参加しています。当科の疾患は全身的に多彩な症状を呈し、不明熱などの原因疾患もあります。診断困難な症例に関しましてもお気軽に御相談ください。

[専門外来一覧]

専門外来

診療日・時間

■リウマチ膠原病外来

火・水・金

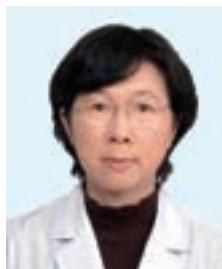
■リンパ腫(LCT)外来

水

電話連絡先 **076-286-3511**(代表)

内線／外来受付 **4118-4119** 医局 **3538-3551**

責任者と診療スタッフ



教授 田中恵子

【専門分野】

神経内科一般、神経免疫疾患

講師 長山成美

【専門分野】

神経内科一般、神経免疫疾患

講師 川村和之

【専門分野】

神経内科一般

医師 垣内無一

【専門分野】

神経内科一般

医師 権藤雄一郎

【専門分野】

神経内科一般



科長／教授 松井 真

【専門分野】神経内科一般、神経免疫疾患、神経感染症

学歴／京都大学医学部・京都大学院卒

職歴／京都大学助手(1987)、佐賀医科大学助手(1991)、佐賀医科大学講師

(1993)、国立療養所宇多野病院神経内科医長(1997)、金沢医科大学

脳脊髄神経治療学(神経内科学)部門教授(2005)

概要

当科では、主に脳・脊髄・末梢神経・筋肉の病気の診断と内科的な治療を担当しています。予約制ですが、初診時は予約なしでも診療を行っています。土曜日は主に初診の患者さまの診療に充てています。すべてのスタッフが神経内科一般を診てありますので、頭痛やめまい・ふらつきを初め、手足のしびれ感や力が抜ける、さらにはもの忘れや呂律がまわりにくいなどの症状でお困りの方は当科を受診ください。診察の結果、当科よりも適切な診療科が判明した場合はそちらへご紹介いたします。

当科では、脳卒中や意識障害・けいれんなどの緊急性の高い疾患に

ついでも随時対応しています。夜間救急の場合は、先ず救急医療センターを受診していただき、救急医の判断により当科医師が診察いたします。

特徴・特色

北陸地方で最初に設立された神経内科で、30年以上の実績があります。大学病院ならではの先進医療を基盤とし、救急では脳卒中やけいれん発作などの病気を、通常外来では頭痛から神経難病までの幅広い疾患を、最新の機器を駆使して診断し積極的に新規治療を取り入れて診療を行うよう努めています。とりわけ、多発性硬化症や重症筋無力症などの神経免疫疾患および神経感染症の診療スタッフが揃っています。

[専門外来一覧]

専門外来

診療日・時間

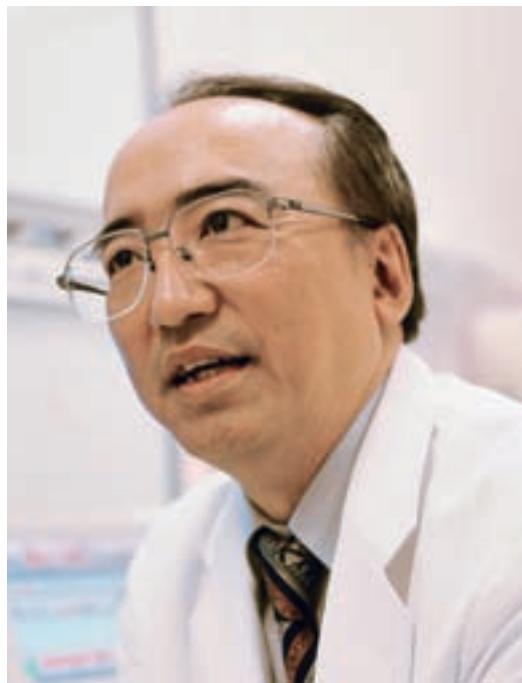
⋮

電話連絡先 **076-286-3511**(代表)内線／外来受付 **4118・4119** 医局 **3503**

脳脊髄神経科

脳神経外科

責任者と診療スタッフ



科長／教授 立花 修

【専門分野】脳腫瘍、間脳下垂体腫瘍

学歴／金沢大学医学部卒

職歴／金沢医科大学脳脊髄神経治療学特任教授、診療科長(2008)、金沢大学医学部脳神経外科学講師(1999)、WHO国際癌研究機関研究員(1994)

准教授 高田 久

【専門分野】
血管内治療、脳血管障害、頭部外傷

講 師 飯田 隆昭

【専門分野】
脊髄・脊椎疾患、脳血管障害、頭部外傷、末梢神経疾患

講 師 岡本 一也

【専門分野】
定位放射線治療、脳腫瘍

医 師 白神 俊祐

【専門分野】
脳腫瘍、脳血管障害、頭部外傷、神経内視鏡

医 師 山本 謙二

【専門分野】
脳腫瘍、脳血管障害、頭部外傷

医 師 鳥越 恵一朗

【専門分野】
脳神経外科一般



教 授 飯塚 秀明

【専門分野】
脳腫瘍、脊髄・脊椎疾患、末梢神経疾患、血管障害、三叉神経痛、顔面痙攣



教 授 赤井 卓也

【専門分野】
小児脳神経外科、脳腫瘍、脳血管障害、内視鏡手術

概要

脳神経外科では、下記の疾患の診断、治療にあたっております。
【脳血管障害】くも膜下出血・脳出血・脳梗塞に対し、急性期の手術および薬物療法から早期のリハビリテーションまで一貫した治療を行ない、後遺症の緩和をはかります。
【脳腫瘍】脳腫瘍に対して、手術・化学療法、放射線療法を含めた集学的治療を行います。間脳下垂体腫瘍は開頭しない経鼻的腫瘍摘出を行い、転移性腫瘍には、2～3日入院で定位放射線治療を行うことができます。

手術においては、神経ナビゲーションや内視鏡を使用し、ミリ単位の手術を行います。

【脊椎脊髄疾患・末梢神経障害】脊椎症・椎間板ヘルニア、脊髄腫瘍、絞扼性末梢神経障害などの治療をいたしております。

【その他】顔面痙攣・三叉神経痛などの機能的外科、頭部外傷・脊椎脊髄損傷、水頭症・脊髄膜腫などの中脳神経系奇形などに対して治療をいたしております。

特徴・特色

従来の治療に加え、低侵襲な先進医療を行なっており、血管内治療では脳動脈瘤・脳動静脈奇形の塞栓、急性期脳梗塞の血栓溶解、狭窄血管の拡張などを行ない、神経内視鏡による水頭症治療、脳室内病巣の治療、ならびに定位放射線治療による腫瘍・脳血管奇形の治療などを行なっております。下垂体腫瘍の外科治療は全国でも有数であり、内分泌・代謝科などと密接に連携し治療しております。

[専門外来一覧]

専門外来

- 脊椎・脊髄疾患外来
- 脳腫瘍外来
- 末梢神経疾患外来
- 脳血管障害外来
- 三叉神経痛・顔面痙攣外来
- 小児神経外科外来
- 下垂体外来

診療日・時間

- | | |
|-----|-------|
| 月・土 | 月・水・金 |
| 月 | 火・木 |
| 火・木 | 月・水・金 |
| 水 | 水 |
| 水・金 | 水 |

電話連絡先 076-286-3511(代表)

内線／外来受付 4118-4119 医局 6503

高齢医学科

責任者と診療スタッフ

准教授 岩井邦充

【専門分野】

老年病、循環器病、高血圧

講師 土屋 博

【専門分野】

老年病、脳血管障害、高血圧

講師 中橋 育

【専門分野】

老年病、循環器病、高血圧、動脈硬化、認知症

講師 村井 裕

【専門分野】

老年病、消化器疾患、栄養障害

医師 坂井潤太

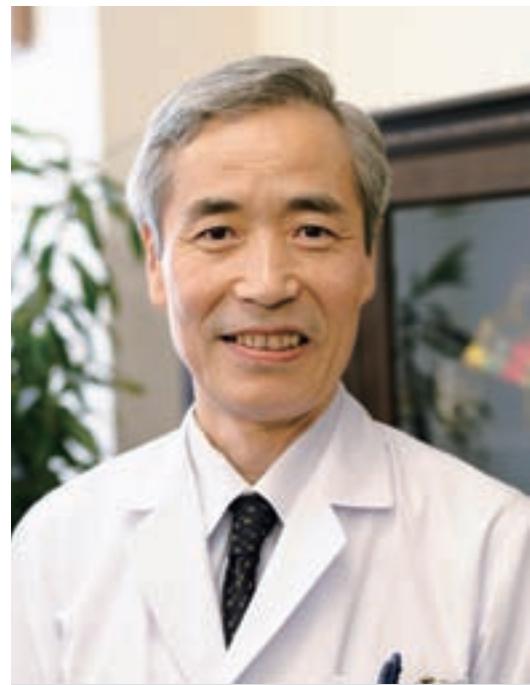
【専門分野】

老年病、消化器疾患、内視鏡

医師 能村幸司

【専門分野】

老年病、認知症、高血圧



科長／教授 森本茂人

【専門分野】老年病、高血圧、骨粗鬆症、動脈硬化、認知症

学歴／奈良医科大学医学部・大阪大学大学院卒

職歴／大阪大学医員(1981)、大阪大学助手(1981)、米国Washington大学研究員(1982)、大阪大学助手(1985)、老人科医局長(1989)

概要

高齢者は多くの疾患を同時に抱えていることが多く、症状も一人一人異なります。しかも身体の各機能は一般成人と比べて大きく異なっています。当科はこのような高齢者の特徴に十分配慮しながら、患者さまを総合的に診療していく科です。特に物忘れ、高血圧、栄養障害、循環器疾患、脳障害、骨粗鬆症などについては専門外来を設け、高齢者の生活の質の維持・向上のために早期からこれらの疾患の予防法をご提示し、また早期治療を行っております。当科では、高齢者によく見られる疾患に幅広く対応するため、それぞれ

異なる専門分野を持ったスタッフが協力して診療にあたるばかりでなく、必要に応じて各疾患の専門科などとも連携して診療を進めています。また、これらの高齢者疾患の診療に加えて、地域医療の中で高齢者の重症疾患、急性疾患に対応し、また長期的な治療計画を提示していくことで地域の高齢者医療のバックアップもはかっています。

特徴・特色

- 高齢者の特徴に充分配慮し、家族とともに、患者さまを診ていく“やさしい”診療科です。
- いくつかの疾患をもった一人の患者さまを、一つの科で、複数のスタッフが総合的に診療にあたるので効率的です。
- 総合病院の特色を生かし、常に他の専門家と連携をとっているので安心です。
- 地域の医療機関や介護施設とも連携し高齢者を総合的にサポートしています。

[専門外来一覧]

専門外来	診療日・時間
■循環器外来	月・火・木
■高血圧外来	月・火・水・木・金
■物忘れ外来	火・水・木・金・土
■栄養障害・胃瘻外来	火・金
■動脈硬化外来	火・水・木・金
■高齢者脳障害外来	水・木・金・土
■骨粗鬆症外来	水・金

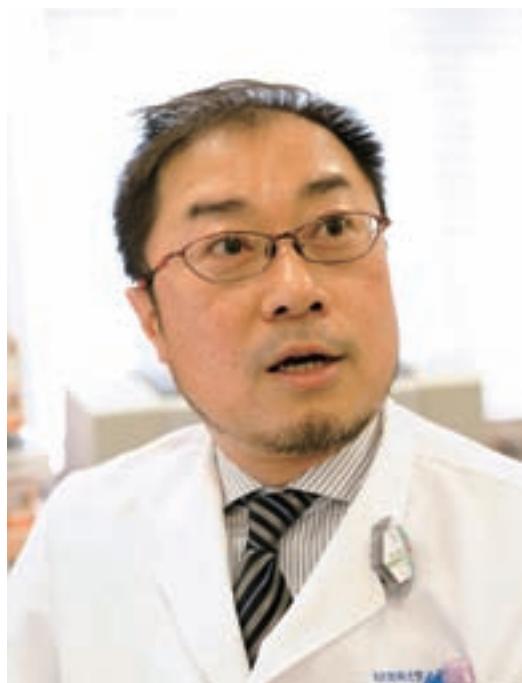
電話連絡先 **076-286-3511**(代表)

内線／外来受付 **4255-4256** 医局 **6512**

小児医学科

小児科

責任者と診療スタッフ



科長／教授 犀川 太

【専門分野】小児血液悪性腫瘍

学歴／金沢大学医学部・金沢大学大学院卒

職歴／National Cancer Institute/National Institutes of Health (USA)
Visiting Scientist/Research Associate (1990)、金沢大学 金沢
大学医学部附属病院助手(1996)、金沢大学 金沢大学医学部附属病院講
師(1997)、金沢医科大学 金沢医科大学医学部部門教授(2008)

准教授 中村常之

【専門分野】

小児循環器、不整脈、川崎病、胎
児心臓病、成人先天性心疾患

講師 小林あづさ

【専門分野】

未熟児、新生児

講師 中村利美

【専門分野】

小児アレルギー

医師 岡田直樹

【専門分野】

小児血液悪性腫瘍

医師 堀澤 徹

【専門分野】

小児血液悪性腫瘍

医師 秋田千里

【専門分野】

小児循環器

医師 平松正行

【専門分野】

小児アレルギー

医師 佐藤仁志

【専門分野】

小児感染症、臨床ウィルス学

医師 藤木拓磨

【専門分野】

小児腎臓学

医師 長澤真由美

【専門分野】

新生児

概要

当科は一般小児部門と未熟児・新生児部門(NICU)に分かれています。NICUは県内の未熟児・病的新生児に対応すべく24時間体制で機能しています。外来は一般小児科外来の他に、内分泌・代謝、循環器、神経、血液・悪性腫瘍、腎臓、アレルギー、心身症、未熟児・新生児、予防接種の専門外来が併設され、ほぼ全分野に亘っています。各専門外来は、予約制になっていますので、あらかじめ曜日を確認の上、電話で予約して下さい。専門外来日以外に受診されましても、専門医不在のため、再来していただくことになりますので、電話での予約を必ずお願いします。内分泌・代謝、神経疾患における遺伝子診断や心疾患における心臓カテーテル検査(インターベンションを含む)、心エコー、運動負荷試験なども行っています。

特徴・特色

臓器別の専門外来を以下の担当で行っています。心エコー、脳波(診断も含む)なども予約制で行っています。

[専門外来一覧]

専門外来

- 小児腎臓外来
- 小児血液悪性腫瘍外来
- 未熟児フォローアップ外来
- 1ヶ月検診
- 乳児検診
- 小児循環器外来・胎児心エコー外来
- 小児発達・神経外来
- 小児アレルギー外来
- 予防接種

診療日・時間

- | | |
|------------------|-------------------|
| 月、第1・3・5土(午前) | ■小児腎臓外来 |
| 火 | ■小児血液悪性腫瘍外来 |
| 水 | ■未熟児フォローアップ外来 |
| 火・金(11:00~12:00) | ■1ヶ月検診 |
| 火・金(13:00~14:00) | ■乳児検診 |
| 月・水 | ■小児循環器外来・胎児心エコー外来 |
| 月(午後)、水・木(午前-初診) | ■小児発達・神経外来 |
| 火・木・金・土(午前) | ■小児アレルギー外来 |
| 火(13:00~14:00) | ■予防接種 |

電話連絡先 **076-286-3511**(代表)

内線／外来受付 **4153-4154** 医局 **3225**

責任者と診療スタッフ



講 師 増山宏明

【専門分野】
小児外科一般、肝移植

医 師 福本泰規

【専門分野】
小児外科一般
(非常勤)

医 師 岡島英明

【専門分野】
肝移植

教 授 河野美幸

【専門分野】
小児外科一般、内視鏡・腹腔鏡下手術



科長／教授 伊川廣道

【専門分野】小児外科一般、排便機能、肝移植

学歴／慶應義塾大学医学部卒

職歴／慶應義塾大学医学部講師(外科)(1996)、金沢医科大学小児外科教授(1997)

概要

当科では、新生児から15歳未満までの外科疾患の診療を行っています。一般消化器外科疾患ばかりではなく、小児泌尿器疾患、小児呼吸器外科疾患から、漏斗胸、耳前瘡孔、副耳、頸瘡に至るまでの広い領域が診療対象です。鼠径ヘルニア、包茎等の侵襲の少ない疾患に対しては日帰り手術を行っています。6カ月以上の患児を対象に、毎週火曜日と金曜日を行っています。手術予定日の1カ月以内に初診した場合は、手術当日まで外来受診の必要はありません。急性虫垂炎、ヒルシュスブルング病をはじめ、多くの疾患に対して開腹をせずに内視鏡手術を行っております。新生児外科疾患をはじめ、緊急処置を要する患児は隨時救急車でお迎えにまいりますので電話で御連絡下さい。

特徴・特色

小児外科疾患の広い領域にわたって経験が豊富です。

また、最先端の小児外科診療を誠意をもって実施することをモットーにしています。特に、新生児外科、排便障害児に対する治療、小児内視鏡外科、小児泌尿器外科、肝移植については教室の最重要課題として全力で取り組んでいます。

[専門外来一覧]

専門外来	診療日・時間
■排便外来	月(13:00~)
■移植外来	土

電話連絡先 **076-286-3511**(代表)
内線／外来受付 **4153-4154** 医局 **6539**

精神医学科

神経科精神科

責任者と診療スタッフ



科長／教授 地引逸亀

【専門分野】神経精神疾患一般、脳画像診断学、てんかん学、神経心理学、精神生理学、精神薬理学

学歴／金沢大学医学部卒

職歴／金沢大学医学部神経精神医学教室講師、金沢大学医学部神経精神医学教室助教授、金沢医科大学神経精神医学教室教授

講 師 渡辺健一郎

【専門分野】

神経精神疾患一般、神経心理学

講 師 岩崎真三

【専門分野】

神経精神疾患一般、精神生理学、脳画像診断学

講 師 (臨床心理士) 北本福美

【専門分野】

臨床心理学、芸術療法

医 師 南野壽利

【専門分野】

神経精神疾患一般

医 師 廣保 究

【専門分野】

神経精神疾患一般、分子精神医学、てんかん学

医 師 川村友美

【専門分野】

神経精神疾患一般、精神薬理学

医 師 紋川明和

【専門分野】

統合失調症の画像診断、神経精神疾患一般

医 師 清水 聰

【専門分野】

神経精神疾患一般、老年精神医学

医 師 小関陽樹

【専門分野】

神経精神疾患一般、脳画像診断学

助 教 (臨床心理士) 小泉葉月

【専門分野】

臨床心理学、行動療法



教 授 鎌田 孝

【専門分野】

神経精神疾患一般、精神生理学、精神薬理学、てんかん学

概要

当科では統合失調症(従来の精神分裂病)や感情障害(躁うつ病)、神経症性障害などの精神疾患全般の診療を行っております。また、認知症(痴呆)やてんかん、巢症状(失語症や記憶障害など)を呈する神経疾患の診療にもあたっており、この意味で神経科精神科を標榜しています。外来診療では神経科と精神科の区別はしていませんが、教授、准教授、講師による新患診察後の再来診療では別表に示す各医師の専門または得意とする疾患領域に従って患者さまを振り分けて診察しています。なお新患、再来の患者さまともに月～土の毎曜日に受付をしております。

診療の対象となる主な疾患：統合失調症、感情障害、妄想性障害、神経症性障害、睡眠障害、児童・青年期の精神障害(知的障害、自閉症、情緒障害、摂食障害(拒食症や過食症)、チック症、不登校など)、人格障害、アルコール依存、薬物依存、てんかん、脳器質性精神病(アルツハイマー病、ピック病、脳血管性痴呆など)、症状精神病(種々の内科疾患に伴う精神障害)、失語・失行・失認などの神経心理学的症状を呈する疾患など幅広く診療しています。

特徴・特色

当科では統合失調症やうつ病、不安・強迫神経症、児童・青年期の精神障害、てんかん・認知症の治療などにとくに力を入れています。また、失語症などの神経心理学の臨床に関しても専門医がいます。その他、臨床心理士が心理検査や特殊精神療法(自律訓練法、音楽療法など)に携わっています。

[専門外来一覧]

専門外来

■心理療法外来

診療日・時間

毎日

電話連絡先 **076-286-3511** (代表)

内線／外来受付 **5221** 医局 **3437**

精神医学科 心身医学科

責任者と診療スタッフ



教授 窪田 孝

【専門分野】
心身医学



科長／教授 地引逸亀

【専門分野】神経精神疾患一般、脳画像診断学、てんかん学、
神経心理学、精神生理学、精神薬理学

学歴／金沢大学医学部卒
職歴／金沢大学医学部神経精神医学教室講師、金沢大学医学部神経精神医学教
室助教授、金沢医科大学神経精神医学教室教授

概要

心身医学科はストレスとの関連が深いため、近年、受診者も多く注目されている科です。ストレスは直接に胃腸障害や頭痛、筋肉痛を引き起こすだけでなく、生活習慣病にも影響します。また、高度化する職務内容や複雑な人間関係からうつ病になる人も増えています。

児童、青年期は自律神経系の発達がまだ未熟なため、様々な身体症状が出やすいものですが、対応を誤ると、二次的に症状を固定させたり、悪化させたりします。

これはパニック障害などの自律神経症状でも同じことがいえま

す。さらに、不登校や拒食症、過食症などその人の生き方と密接に関係する問題も増えています。

いずれも、自分をとりまく環境やライフスタイルを再点検して改善することが大切です。そのため専門的な診察とカウンセリングが必要とされ、そうした人間の健康をトータルにとらえ治すのが心身医学です。

特徴・特色

初診は月曜日で、日本心身医学会会員の窪田 孝教授が診察します。臨床心理士2名を含むカウンセリング、個人精神療法、自律訓練も予約制で行っています。

対象は上記の不安・パニック障害、摂食障害、不登校、過敏性腸症候群、うつ病の他、ストレス関連障害、適応障害、身体表現性障害などです。

[専門外来一覧]

専門外来

診療日・時間

⋮

電話連絡先 **076-286-3511** (代表)
内線／外来受付 **5008** 医局 **3437**

放射線科

責任者と診療スタッフ



科長／教授 利波久雄

【専門分野】MRI、CT

学歴／信州大学医学部卒

職歴／金沢医科大学助手(1980)、金沢医科大学講師(1985)、金沢医科大学助教授(1992)、金沢医科大学教授・特任(1999)、金沢医科大学部門教授(2004)

准教授 横田 啓

【専門分野】
消化管診断、CT

准教授 的場宗孝

【専門分野】
IVR、放射線治療

講師 谷口 充

【専門分野】
心臓核医学、CT

講師 釘抜康明

【専門分野】
CT、MRI

医 師 太田清隆

【専門分野】
放射線治療、IVR

医 師 高橋和子

【専門分野】
核医学

医 師 北橋優隆

【専門分野】
画像診断

医 師 道合真理子

【専門分野】
画像診断

医 師 近藤 環

【専門分野】
画像診断

医 師 豊田一郎

【専門分野】
画像診断

医 師 八田裕貴子

【専門分野】
画像診断



教 授 渡邊直人

【専門分野】
腫瘍核医学

概要

放射線科の業務は単純撮影、消化管造影、X線CT、超音波、MRI、核医学、血管造影等の画像診断部門と放射線治療(外部照射、小線源内部照射、X-Knife)および造影技術を利用したインターベンション治療(IVR)等の治療部門の二つに大別されます。放射線科外来では院内他科や関連病院および診療所から紹介された患者さまの画像診断や放射線治療およびIVR等の診療を行っております。簡単な検査は外来のみで十分ですが、血管造影やIVR、またリニアックによる放射線外部照射、X-Knife、小線源による内部照射などは入院治療が必要となります。

特徴・特色

診断部門は最新の機器を駆使し、画像診断全般をカバーしております。放射線治療部門では外部照射、小線源内部照射、X-Knife 全てが可能です。IVRでは抗腫瘍効果や止血を目的とした全身のTAEはもちろんのこと、持続動注用のリザーバー造設術、各種ステント留置術など広い範囲で対応しております。

[専門外来一覧]

専門外来

診療日・時間

■腫瘍(放射線治療とIVR)外来

毎日

電話連絡先 **076-286-3511**(代表)

内線／外来受付 **4153-4154** 医局 **3234-3236**

整形外科（骨・関節・脊椎・末梢神経）

責任者と診療スタッフ



教授(併) 岡田正人

【専門分野】

末梢神経疾患、手の外科、外傷外科

准教授 藤田拓也

【専門分野】

脊椎・脊髄疾患

講師 兼氏 歩

【専門分野】

股・膝関節疾患、スポーツ障害

講師 杉森端三

【専門分野】

膝関節疾患、スポーツ障害

講師 奥田鉄人

【専門分野】

脊椎・脊髄疾患、スポーツ障害

講師 前岡勇人

【専門分野】

外傷外科、手の外科

講師 市堰 徹

【専門分野】

股関節疾患、整形外科一般

医師 波多野栄重

【専門分野】

脊椎・脊髄疾患、整形外科一般

医師 廣村健太郎

【専門分野】

外傷外科、整形外科一般

医師 安田佳史

【専門分野】

脊椎・脊髄疾患、整形外科一般

医師 福井清数

【専門分野】

股関節疾患、整形外科一般

医師 北村憲司

【専門分野】

膝関節疾患、整形外科一般



科長／教授 松本忠美

【専門分野】股・膝関節疾患

学歴／金沢大学医学部・金沢大学大学院卒

職歴／金沢医科大学教授(1999)、金沢大学医学部助教授(1990)、金沢医科大学評議委員(2005)、金沢医科大学副理事長(2008)

概要

整形外科では、関節疾患、脊椎脊髄疾患、外傷、末梢神経疾患を扱っています。

●関節疾患では、変形性股関節症、大腿骨頭壊死、変形性膝関節症、関節リウマチ、スポーツ障害などを主に扱っています。中でも変形性股関節症に対しては、病期に応じて各種骨切り術や人工関節を行っており、その手術症例数は日本でも有数の施設の一つに数えられています。

●脊椎脊髄疾患では、手足のしびれや、坐骨神経痛と原因となる頸椎・腰椎椎間板ヘルニア、腰部脊柱管狭窄症、後縦靭帯骨化症(OPPLL)などを扱っています。

最近では、内視鏡と顕微鏡を駆使した最小侵襲手術にこだわり、体への負担が軽く、痛みの少ない手術を行っています。

●外傷は上腕、大腿、下腿、足部の骨折など、あらゆる骨折に対処しています。また高齢者に多い、骨粗しょう症を伴った骨折に対しては早期社会復帰を目指し、積極的に最小侵襲での手術を行っています。

●末梢神経疾患は尺骨、正中神経などの絞扼性末梢神経障害などを扱い、関節鏡視下による神経除圧術などを行っています。

特徴・特色

当科は、整形外科のあらゆる分野の疾患に、各専門の医師が対応し、そして、そのどの分野においても、豊富な治療実績および手術経験があります。また一方で、患者さま一人一人のニーズを常に意識し、十分なインフォームドコンセントを得た上で治療に心がけています。

[専門外来一覧]

専門外来	診療日・時間
■股関節外来	月・金
■手の外科・手足のしびれ外来	月・水・金
■脊椎・脊髄神経外来(頸椎・腰椎椎間板ヘルニア、坐骨神経痛外来)	月・水・金
■膝関節外来	月・金
■リウマチ外来	月・金
■スポーツ障害外来	月・金

電話連絡先 076-286-3511(代表)

内線／外来受付 4118・4119 医局 3214・3218

形成外科

責任者と診療スタッフ



科長／教授 川上重彦

【専門分野】形成外科一般、頭蓋顎顔面外科、熱傷、唇裂・口蓋裂外科、美容外科

学歴／金沢大学医学部卒

職歴／金沢医科大学形成外科助手(1979)、金沢医科大学形成外科講師(1987)、金沢医科大学形成外科助教授(1992)、カリフォルニア大学サンゼルス校形成外科客員教授(1996)、金沢医科大学形成外科(機能再建外科学)教授(部門教授)(1997)

講 師 島田賢一

【専門分野】
形成外科一般、手の外科、マイクロサージャリー、美容外科

講 師 岸辺美幸

【専門分野】
形成外科一般、耳再建、美容外科、マイクロサージャリー

講 師 山元康徳

【専門分野】
形成外科一般、熱傷、美容外科

講 師 森田礼時

【専門分野】
形成外科一般、マイクロサージャリー、再生医療

講 師 山下昌信

【専門分野】
形成外科一般、頭蓋顎顔面外科

医 師 台蔵晴久

【専門分野】
形成外科一般

医 師 氷見祐二

【専門分野】
形成外科一般、再生医療

医 師 中村奈美樹

【専門分野】
形成外科一般

医 師 桜井梨江

【専門分野】
形成外科一般、美容外科

概要

北陸地区唯一の大学病院形成外科として年間1,200例前後の再建外科手術を行い、北陸地区形成外科診療の中核として機能しています。具体的には、瘢痕やケロイド、皮膚腫瘍・母斑などの皮膚再建外科症例に加え、外表先天異常(口唇・口蓋裂、耳介異常、眼瞼下垂症、多合指症、尿道下裂など)、手の外科(切断指など)、頭蓋・顔面骨の形態異常(頭蓋骨早期癒合症、顔面骨骨折、顎変形症など)、乳房再建、顔面神経麻痺変形、上下顎部・頭蓋底腫瘍後の変形、などが多数を占めています。

これらの症例にマイクロサージャリーを用いた組織移植・再接着や頭蓋顔面骨の骨切り、延長、組み替えなど、高度な手技を用いた再建手術を行っています。また、熱傷の治療においても、全身管理から再建手術まで、全経過を担当し、多くの重症例を社会復帰させてきました。最近は、高齢化社会の影響か、寝たきり高齢者などにみられる難治性褥瘡、梅毒患者などにみられる下腿潰瘍に対する手術治療例も多くなっています。また、平成16年4月より美容外科診察を開始し、美容外科研修機関としての機能も併せ持つようになりました。

特徴・特色

長年にわたり多数の手術症例を経験し、その疾患も多岐にわたっていますことから、形成外科疾患の全ての領域において、日本でも有数の治療成績を誇っています。

また、多くの疾患の治療において、耳鼻咽喉科、脳神経外科、矯正歯科、言語聴覚士とのチーム医療を行いその治療成績の向上をはかっています。

[専門外来一覧]

専門外来	診療日・時間
■頭部・顎顔面外科外来	火・木(午前)
■口唇・口蓋裂外来	火・木(午前)
■熱傷外来	火・木(午前)
■美容外科外来	月・火・木・金の午後
■手足先天異常	火・木(午前)
■耳の先天異常	火・木(午前)

電話連絡先 076-286-3511(代表)

内線／外来受付 4153-4154 医局 6526

眼 科

責任者と診療スタッフ



教授 北川和子

【専門分野】

外眼部感染症、コンタクトレンズ、ドライアイ、アレルギー、角膜疾患

講 師 永井康太

【専門分野】

白内障、網膜硝子体疾患、眼科一般

講 師 河上 裕

【専門分野】

白内障、甲状腺眼症、眼科一般

医 師 藤田信之

【専門分野】

白内障、ぶどう膜炎、眼科一般

医 師 萩原健太

【専門分野】

感染症、角膜疾患

医 師 稲垣伸亮

【専門分野】

眼科一般

医 師 長田ひろみ

【専門分野】

白内障

医 師 柴田奈央子

【専門分野】

眼形成

非常勤医師 中泉裕子

【専門分野】

斜視・弱視、未熟児網膜症、網膜硝子体疾患、ロービジョン

非常勤講師 藤澤来人

【専門分野】

緑内障

非常勤講師 久保田明子

【専門分野】

眼形成

非常勤医師 金田穰次

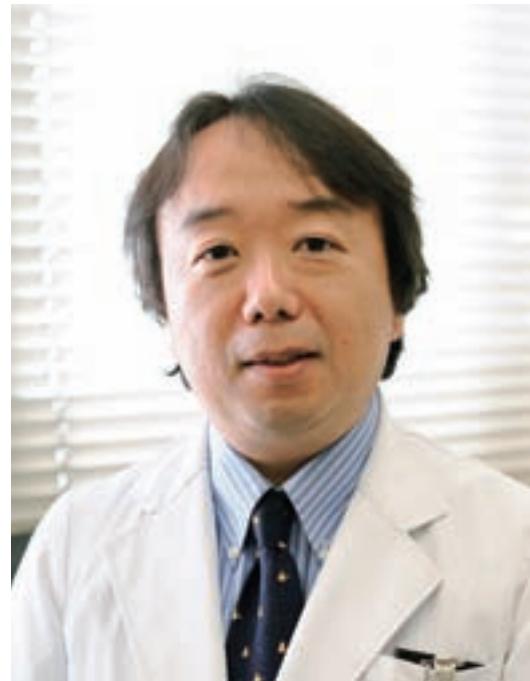
【専門分野】

眼形成

非常勤医師 野田実香

【専門分野】

眼形成



科長／教授 佐々木 洋

【専門分野】白内障、ぶどう膜炎、網膜硝子体疾患

学歴／金沢大学医学部卒

職歴／中国医科大学客員教授(2007.04)、金沢医科大学教授(2005.05)

概要

当科では教授2名、医師7名が毎日の外来診断、入院診科療を行っております。初診、再診ともに毎日受付しております。再来および

【専門外来一覧】

専門外来	診療日・時間
■緑内障外来	木(午後・月1回)
■ぶどう膜外来	月・金
■未熟児網膜症外来	金
■斜視・弱視外来	土(第4)
■コンタクト外来	火
■ドライアイ外来	火・水
■ロービジョン外来	火(14:00~)
■角膜外来	水
■外眼部感染症外来	水
■網膜硝子体外来	金(午後)
■白内障眼内レンズ外来	月・木・金
■眼鏡外来	木(午後)
■眼形成外来	金(月1回)
■鼻涙管疾患外来	火
■加齢黄斑変性症外来	水

電話連絡先 **076-286-3511** (代表)

内線／外来受付 **7251** 医局 **3415**

特殊外来はすべて予約制です。

白内障は小児の白内障、併発白内障、難治性白内障を含め年間1千件以上の手術を行なっております。白内障の診断には最新の診断機器を用いて「見え方の質」を客観的に評価したうえで、個々の患者さまに最も適した眼内レンズを選択し、最良の視機能獲得を目指した治療を行なっております。また、最近は糖尿病網膜症、網膜剥離、黄斑疾患などの網膜硝子体疾患の手術や緑内障に対するレーザー手術、観血的手術も増加しております。さらに、高齢者で増加している眼瞼下垂や結膜弛緩症、小児の斜視に対する手術も専門医が多数手がけており良好な成績を収めております。昨年度より外来は第二新館に移転し、スタッフ一同これまで以上に努力いたす所存でありますので、どうぞよろしくお願い致します。

特徴・特色

白内障、ぶどう膜炎、角膜(ドライアイ、シーグレン症候群、アレルギー、感染症)、斜視・弱視、網膜硝子体疾患(糖尿病網膜症、網膜剥離、黄斑疾患など)、緑内障、眼瞼疾患(眼瞼下垂、内反症、外反症など)など、各分野の専門医が外来を担当しております。救急疾患でない場合は専門外来宛にご紹介ください。

耳鼻咽喉科

責任者と診療スタッフ



耳鼻咽喉科科長/教授 三輪高喜

【専門分野】耳鼻咽喉科全般、嗅覚障害、鼻アレルギー、副鼻腔炎

学歴／富山医科大学・金沢大学大学院(医学系研究科)卒

職歴／金沢医科大学感覺機能病態学(耳鼻咽喉・頭頸科)部門教授(2009)、金沢大学医学部助教授(1997)、金沢大学医学部講師(1993)、金沢大学医学部助手(1990)、高岡市民病院医長(1989)

講師 村田英之

【専門分野】

鼻副鼻腔疾患

講師 堀口章子

【専門分野】

めまい、難聴、耳鳴、喉頭、音声

講師 下出祐造

【専門分野】

頭頸部腫瘍、甲状腺疾患

講師 志賀英明

【専門分野】

鼻副鼻腔疾患、嗅覚障害

医師 宮澤 徹

【専門分野】

耳鼻科一般

医師 山田奏子

【専門分野】

耳鼻科一般

医師 北村みわ

【専門分野】

耳鼻科一般

医師 山本純平

【専門分野】

耳鼻科一般



教授(併) 鈴鹿有子

【専門分野】

めまい、難聴、耳鳴、中耳疾患、

メニエール病



教授(併) 辻 裕之

【専門分野】

頭頸部癌、再建外科、頭蓋底外

科

概要

当科では、耳鼻咽喉並びに頸部とその周辺疾患の診療を行なっています。聴覚、平衡覚、嗅覚、味覚など感覚器の異常、鼻副鼻腔、口腔、咽喉頭など上気道と耳の感染性疾患や外傷性疾患などを扱うとともに、この部に発生する悪性腫瘍に対しては、頭頸部外科として高度な集学的治療を行なっています。

高度医療の推進のため、人工内耳術やナビゲーション手術を行うとともに、癌に対しては、手術、放射線療法、化学療法を組み合わせた先端治療を、当院、集学的がん治療センターと共同で行なっています。乳幼児難聴、音声言語障害、嚥下障害には言語聴覚士とのチーム医療を展開しています。

当科が扱う領域は人のQOLに深く関わる領域でありますので、疾患そのものの治療のみならず、患者さまのQOLを高め、患者さまが高い満足感を得られることを目標としています。外来診療は月曜日から土曜日まで行ない、即日入院も可能な体制を整えています。耳、鼻副鼻腔、口腔、咽頭、喉頭、頭頸部がんそれぞれの分野のスペシャリストが診療にあたっています。

特徴・特色

- (1)国内で数少ない嗅覚・味覚外来の設置
- (2)ナビゲーションシステムを使用した安全で確実な手術治療
- (3)アレルギー性鼻炎、いびきの日帰り手術
- (4)甲状腺がん、頭頸部がんの先端集学的治療
- (5)いびき・睡眠時呼吸障害に関する他科共同の診断と治療
- (6)乳幼児難聴、音声言語、術後嚥下障害に対するリハビリテーション
- (7)耳鳴りに対するTRT療法

[専門外来一覧]

専門外来	診療日・時間
■嗅覚・味覚外来	月・木
■鼻アレルギー外来	月・木
■難聴外来	月・金
■めまい外来	月・火
■耳鳴・TRT外来	木 (TRTは予約制)
■甲状腺外来	木
■頭頸部腫瘍外来	金
■音声・言語外来	毎日

電話連絡先 076-286-3511(代表)

内線/外来受付 7250 医局 3423

頭頸部外科

責任者と診療スタッフ

講師(併) 堀口章子

【専門分野】

めまい、難聴、耳鳴、喉頭、音声

講師(併) 下出祐造

【専門分野】

頭頸部腫瘍、甲状腺疾患



科長/教授 辻 裕之

【専門分野】頭頸部腫瘍、再建外科

学歴／関西医科大学医学部卒

職歴／関西医科大学耳鼻咽喉科学 助手(1988)、清生会野江病院耳鼻咽喉科

医長(1992)、関西医科大学耳鼻咽喉科学 講師(1997)、関西医科大学

耳鼻咽喉科学 助教授(2001)、金沢医科大学感覚機能病態学(耳鼻咽喉

科学)助教授(2005)、金沢医科大学感覚機能病態学(耳鼻咽喉科学)臨

床教授、頭頸部外科科長(2009)

概要

頭頸部がんは、脳と目を除く首から上の部位にできるがんの総称である。腫瘍が発生する部位によって、喉頭がん、舌がんなどの口腔がん、咽頭がん、鼻・副鼻腔がんなどに分かれる。罹患者は50～60代の男性が多いが、舌がんや上咽頭がんでは若年者にも発症する。罹患率はがん全体の5%（年間2万人）程度であるが、近年、増加傾向にある。頭頸部領域は、話す、かむ、呼吸する、飲み込むといった生活に不可欠な活動にかかわる部位に多く、においをかぐ・味わう・聞くといった感覚器も集中している。したがって、頭頸部

がん治療は、根治性だけでなく治療後の機能温存を十分に配慮することが重要である。

当科では日本でも数少ない頭頸部がんを扱う専門科として、積極的に頭頸部がん治療医の育成に取り組んでいる。

特徴・特色

甲状腺を含む頭頸部がんを扱う。抗がん剤の副作用を理解し化学療法を効果的かつ安全に行う技術を身につけること、頭頸部外科の手術手技を習得することに加え、大きな視野をもって患者のQOLを考慮した治療方針が決定できることを目標とする。

[専門外来一覧]

専門外来

診療日・時間

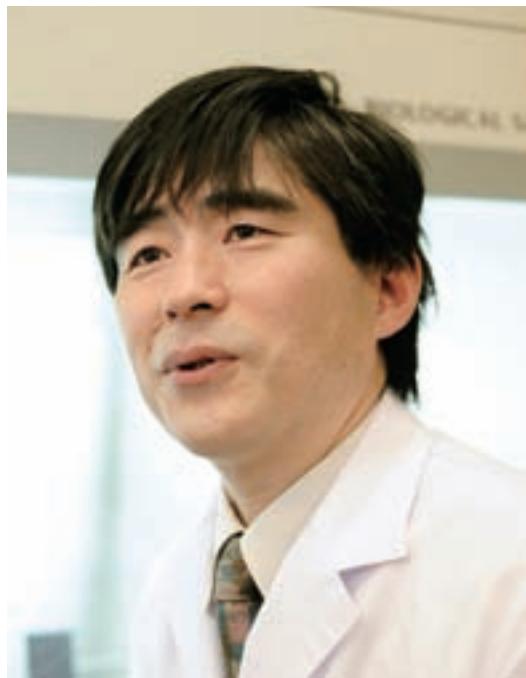
⋮

電話連絡先 **076-286-3511**(代表)

内線／外来受付 **7250** 医局 **3423**

皮膚科

責任者と診療スタッフ



科長／教授 望月 隆

【専門分野】皮膚真菌症

学歴／弘前大学医学部・滋賀医科大学大学院卒

職歴／滋賀医科大学助手(1986)、文部省在外研究員テキサス大学オースチン校(1991)、カリフォルニア大学リバーサイド校客員准教授(1992)

准教授 田邊 洋

【専門分野】
皮膚真菌症、褥瘡

講師 阿部真也

【専門分野】
皮膚科一般、皮膚腫瘍

講師 藤井俊樹

【専門分野】
皮膚科一般

医師 寺田麻衣子

【専門分野】
皮膚科一般

概要

皮膚科では、皮膚に生じるあらゆる病的状態を対象に診療を行っています。“皮膚は内臓の鏡”ともいわれ、内臓疾患に関連した皮膚病変にも着目し診療を行っています。

診察は、午前中は講師以上の初診担当医が紹介患者さまを担当し、それ以外も皮膚科専門医を中心診療をすすめております。診断のために皮膚生検、パッチテスト等の検査が必要な患者さまには、後日改めて来院していただくことがあります。皮膚腫瘍の患者さまでは、診察後手術を予約させていただきます。

特殊治療としては、乾癬・白斑等色々な疾患にnarrow-UVBを用いた光線療法を行っています。

月・水・金曜日13時～15時に皮膚真菌症を対象とした真菌外来を、木曜午後にはにきび外来を、金曜15時～18時に光線療法外来(乾癬外来)を行っております。

特徴・特色

当科では皮膚真菌症について専門的に研究しており、足白癬、爪白癬から近年急速に増加してきた新しいタイプの真菌症まで、菌の同定から治療まで行っております。また御紹介いただいた患者さまに内臓疾患の関与が疑われるときは、他科との連携を重視し、患者さまにとって効率的な診療になるよう心がけています。

[専門外来一覧]

専門外来

■光線療法外来（乾癬外来）

診療日・時間

金
(15:00～17:00)

予約再診のみ

月・水・金
(13:00～15:00)

木
(13:00～15:00)

予約再診のみ

金(午後院内往診)

■真菌外来（紹介及び院内対診のみ）

■にきび外来

■褥瘡外来

電話連絡先 **076-286-3511**(代表)

内線／外来受付 **4118-4119** 医局 **3321-3324**

産科婦人科

責任者と診療スタッフ

准教授 藤井亮太

【専門分野】

生殖内分泌、周産期学

講師 高木弘明

【専門分野】

周産期学、婦人科腫瘍

講師 富澤英樹

【専門分野】

生殖内分泌、体外受精一胚移植(ART)、産科不育症

講師 藤田智子

【専門分野】

周産期学

講師 早稲田智夫

【専門分野】

周産期学、生殖内分泌、体外受精一胚移植(ART)

講師 岡 康子

【専門分野】

周産期学



科長／教授 牧野田 知

【専門分野】生殖内分泌、婦人科腫瘍、周産期学、排卵とサイトカイン

学歴／北海道大学医学部・北海道大学大学院(医学研究科)卒

職歴／北海道大学助手(1983)、北海道大学講師(1987)、北海道大学助教授(1993)、金沢医科大学図書館長(2008)

概要

産科婦人科外来は、牧野田 知教授の指導下に周産期外来、腫瘍外来、生殖内分泌外来の専門外来をつくり、最新の医療と情報を提供しています。

周産期外来では出生前診断に力を注いでいます。カラードッپラー検査、羊水、臍帯穿刺術、MRIなどにより的確な胎児診断を行い、紹介医に情報を提供し管理計画を作っています。母体搬送

にはNICUと連携して24時間体制で対応しています。重症搬送が必要な時、または地域救急車の使用が不可能な時は病院ドクターを用意し、産科医と助産婦が依頼先に迎えに行ける体制を作っています。

腫瘍外来では5年生存率の向上に向けて癌根治手術に力を注いでいます。術後の管理は紹介医と共同での計画を作っています。

生殖内分泌外来では不妊外来と不育外来に分けて診療を行っています。不妊外来では体外受精・胚移植、顕微受精と腹腔鏡下手術に力を注ぎ、不育外来では自己免疫疾患や同種免疫不育に対して最新の医療の提供に力を注いでいます。それぞれ紹介医と共同で管理する計画作りが可能です。

[専門外来一覧]

専門外来	診療日・時間
■不妊内分泌外来	毎日
■婦人科検診外来	毎日
■体外受精外来	月～金
■思春期外来	月～金
■遺伝外来	月～金
■出生前診断外来	月～金
■不育外来	月～金
■マタニティクラス	土(第2、第4)
■周産期外来	月・水・木・金

電話連絡先 **076-286-3511**(代表)

内線／外来受付 **7252** 医局 **3340**

特徴・特色

各専門医の国際化に心がけ、治療成績が国際的専門領域の標準を越える医療の提供を心がけています。

紹介には24時間体制で対応できるように、また紹介医と共同管理を続けて、患者さまに安心していただけるように心がけています。

総合診療科

責任者と診療スタッフ



講 師 山川淳一

【専門分野】

総合内科学、東洋医学

医 師 守屋純二

【専門分野】

総合内科学、東洋医学

科長事務取扱 飯塚秀明

【専門分野】脳神経外科学

学歴／金沢大学医学部・金沢医科大学大学院(脳神経外科学)卒

職歴／金沢医科大学脳神経外科学講師(1993)、金沢医科大学脳神経外科学助教授(1996)、金沢医科大学脳神経外科学教授(特任)(1997)、金沢医科大学脳神経外科学教授(講座主任)(1999)、金沢医科大学脳脊髄神経治療学(脳神経外科学)教授(部門主任)(2004)、金沢医科大学病院副院長(2005)、金沢医科大学病院病院長(2008)

概要

自然科学の発達で医学は類をみない長寿社会をもたらしています。近代医学の基本的な治療戦略は、病気の原因を究明し、この原因を取り除くのに主眼を置いています。

この治療戦略によって、かつては死にいたる病気であった結核症は制圧され、ポリオや痘瘡は撲滅されました。その成果はいくら賞賛しても尽くせないものです。

しかし、単一の原因を特定できず、今までの考え方ではうまくいかない状況もあらわれてきています。

総合診療科は

①どの診療科を受診したらよいかわからない患者様など

②不定愁訴や多愁訴の患者様など

を診療科にとらわれることなく診察させていただいています。

特に、不定愁訴の患者様に対し、西洋医学的に異常所見を認めず、処方に苦慮した場合など、漢方治療を用いて治療させていただいています。

また、現代医療を優先させるべき疾患に関しては、各科の専門医にご紹介させていただいております。

特徴・特色

当院は特定機能病院であり、必要に応じてそれぞれの専門医に紹介できる環境が整っています。西洋薬では効果が不十分な患者様に対しては漢方治療もおこなっています。西洋医学と東洋医学を融合させ、両者の長所を生かし、短所を補い、全人的治療をおこなっていることが特色です。

[専門外来一覧]

専門外来

診療日・時間

■漢方外来

月～金・土(奇数週)

電話連絡先 **076-286-3511**(代表)

内線／外来受付 **5277** 医局 **3845**

麻酔科

責任者と診療スタッフ

講 師 白石美治

【専門分野】
集中治療、心臓麻酔、ペインクリニック

医 師 木田紘昌

【専門分野】
心臓麻酔、小児麻酔

医 師 足立明子

【専門分野】
臨床麻酔

医 師 杉浦聰一郎

【専門分野】
集中治療、心臓麻酔

医 師 山岡祐子

【専門分野】
臨床麻酔

医 師 村田有理子

【専門分野】
臨床麻酔

医 師 西池 聰

【専門分野】
麻酔科学一般

医 師 真柄鮎子

【専門分野】
臨床麻酔

医 師 堀内 桂

【専門分野】
臨床麻酔、集中治療

医 師 平松利章

【専門分野】
臨床麻酔



科長／教授 土田英昭

【専門分野】麻酔科学一般

学歴／札幌医科大学学卒

職歴／札幌医科大学麻酔学講座講師(1991)、クリーブランド・クリニック麻酔科(1993)、札幌医科大学麻酔学講座講師(1994)、金沢医科大学麻酔学講座教授(1999)

概要

当科では手術室麻酔管理および痛みの外来を行っています。最近の麻酔管理は手術中にだけ視点をおくのではなく、術前から術後までを含めた周術期における患者さまのQOLを高めることが重要であると考えられています。当科では外科系各科との連携のもと、年間3,000件の麻酔管理に従事していますが、常に患者さまの安全と安心を心がけています。また術前診察に加え、患者さまやご家族への麻酔に関する情報提供や不安にお応えするために麻酔の説明書と問診表を配布しています。これは周術期の合併症予防にも繋がると考えています。外来診療は新館への移転に伴い、専門外来名を「痛みの外来」とし、月・水・金の週3日、複数の医師が神経ブロックに光線療法や薬物療法を併用し、診療を行っています。ま

た院内の緩和ケアチームの中心的役割を担い、他科の医師やパラメディカルと一緒にになって、悪性疾患の疼痛緩和医療にもあたっています。さらに救命救急科や看護部とともに院内ACLS委員会を結成し、救急蘇生法の普及に努めています。

特徴・特色

外来診療(痛みの外来:ペインクリニック)の内容主に慢性疼痛疾患が対象となります。帶状疱疹後神経痛や幻肢痛、カウザルギーなどの難治性疼痛を始めとして、通常の痛み止めに反応のよくない疼痛に対する治療や、末梢循環不全などに神経ブロックや光線療法、脊髄電気刺激療法などを行っております。また腰下肢痛の患者さまには、硬膜外内視鏡を用いた神経剥離術も行っております。

[専門外来一覧]

専門外来

診療日・時間

■痛みの外来

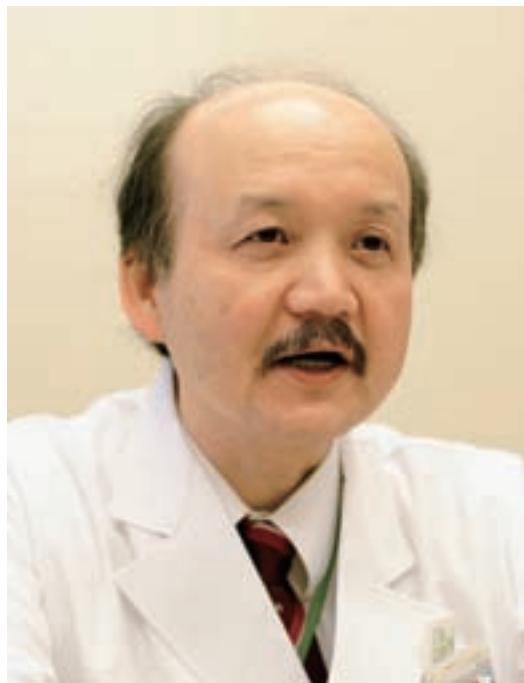
月・水・金

電話連絡先 **076-286-3511**(代表)

内線／外来受付 **4101・4106** 医局 **3137**

リハビリテーション医学科

責任者と診療スタッフ



科長／教授 影近謙治

【専門分野】リハビリテーション医学一般、脳卒中、高次脳機能障害、骨粗鬆症、脊髄損傷、痙攣性麻痺

学歴／金沢大学医学部卒

職歴／金沢大学医学部整形外科(1988)、石川整肢学園小児整形外科センター(1989)、スウェーデン王立カロリンスカ研究所臨床神経生理学部門客員研究員(1990)、富山県高志リハビリテーション病院リハビリテーション科医長(1997)、市立砺波総合病院リハビリテーション科部長(2001)、金沢医科大学医学部運動機能病態学(リハビリテーション科)教授(2009)

講師 中田 実

【専門分野】慢性筋疲労、慢性疼痛

非常勤医師 山口昌夫

【専門分野】リハビリテーション医学一般、小児神経疾患

非常勤医師 坪川 操

【専門分野】リハビリテーション医学一般、言語障害

非常勤医師 河崎寛孝

【専門分野】リハビリテーション医学一般、摂食・嚥下障害、内科疾患リハビリテーション

概要

当科では主として運動機能障害に対するリハビリテーション医療を行っています。院内各科及び院外から紹介される対象障害は、中枢神経障害、末梢神経・筋障害、骨・関節障害、小児運動障害、廐用症候群、嚥下・言語障害、慢性筋疲労・疼痛、心機能・循環障害、呼吸機能障害などで、新規患者数は年々増え、平成20年度では2000例を数えました。リハビリテーション科医2名、非常勤講師3名と登録医2名で診療していますが、整形外科、耳鼻咽喉科、循環器内科、心臓血管外科・呼吸器内科、呼吸器外科、神経精神科(作業療法)の機能障害については当該科にお願いしています。リハビリテーションセンターの理学療法士18名、作業療法士8名、言語聴覚士5名とともに、急性期リハビリテーション医療を中心に行うと同時に、40床の回復期リハビリテーション病棟では専門看護師とチームを組んで、ADL自立と自宅復帰に向けて集中的治療を行っています。その他に専門病床1床が割り当てられていますので、対象患者さまがいましたらご一報下さい。

特徴・特色

リハビリテーション科の治療は専門医の診断と評価、治療計画のもとに、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、義肢装具士、看護師、ソーシャルワーカーなどのチームによって行われます。とくに急性期・早期からの開始が重要です。また当科では、摂食・嚥下障害に対し、検査、診断、嚥下リハビリテーションが可能です。

[専門外来一覧]

専門外来	診療日・時間
■嚥下外来	火・木
■装具外来	火(午後)
■言語外来	火・木
■慢性筋疲労外来	木(午前)

電話連絡先 **076-286-3511**(代表)

内線／外来受付 **4118-4119** 医局 **3170**

内視鏡科

責任者と診療スタッフ

講 師 浦島左千夫

【専門分野】

消化器癌の内視鏡診断・早期消化器癌(食道・胃・大腸)の内視鏡治療、上部・下部消化管出血の内視鏡治療、内視鏡的胃瘻造設術などの内視鏡治療、ステント治療、内視鏡的肝・胆・脾疾患の診断と治療

医 師 濱田 和

【専門分野】

消化器癌の内視鏡診断・早期消化器癌(食道・胃・大腸)の内視鏡治療、上部・下部消化管出血の内視鏡治療、内視鏡的胃瘻造設術などの内視鏡治療

医 師 川浦 健

【専門分野】

消化器癌の内視鏡診断・早期消化器癌(食道・胃・大腸)の内視鏡治療、上部・下部消化管出血の内視鏡治療、内視鏡的胃瘻造設術などの内視鏡治療



科長／教授 伊藤 透

【専門分野】消化器癌の内視鏡診断・早期消化器癌(食道・胃・大腸)の内視鏡治療、上部・下部消化管出血の内視鏡治療、内視鏡的胃瘻造設術などの内視鏡治療

学歴／金沢医科大学医学部・金沢医科大学大学院卒

職歴／金沢医科大学病院内視鏡科准教授(2007)、金沢医科大学病院内視鏡科

臨床教授(2009)

概要

当内視鏡科は平成19年4月1日に当病院の30番目の臨床科として新設されました。同科の設置は北陸の大学病院で初めてで、全国でも数大学病院しかなく、地域の信頼に応えるべく消化器内視鏡の専門医らがより高度な診断・治療を行う専属の医療体制を整え、早期消化器がんの発見、治療に役立てることを目的としております。また当病院が予防医学の観点から推進しております健診においても質を担保した安全かつ体に優しい検査を行い、病院内の他科からの内視鏡検査依頼に対する迅速な対応や医療相談(対診)も充実させていく方針です。内視鏡科は、内視鏡を用いて食道や胃、大腸などを診断・治療する専門医を専属で内視鏡センターに配置致しました。

内視鏡を使った医療はこれまで消化器内科、外科、呼吸器科などの医師らが同センターに出向いて診断・治療する態勢でしたが、今後専属の専門医を同センターに配置することで、患者様の検査・治療上の安全性を確保し、より高いレベルの診断・診療を提供できるよう体制作りを行っていく予定です。

特徴・特色

科長の伊藤は、1987年より早期消化器癌の内視鏡治療の研鑽を積んでおり、石川県でも屈指の経験数を持っており、内視鏡治療全般にも豊富な経験があり、近年では小腸内視鏡あるいは小腸カバセルによる小腸疾患の診断にも力を入れております。また、肝・胆・脾疾患についても、ERCP、EUS下生検、ステンティングおよびIVRなどによる診断と治療に積極的に取り組んでおります。今後も患者様の安全かつ効率的な治療を行い、ご紹介頂く先生方の御信頼を頂けるよう努力致していく所存です。

[専門外来一覧]

専門外来

診療日・時間

■早期消化器癌内視鏡治療外来

水、金

電話連絡先 **076-286-3511** (代表)

内線／外来受付 **5277** 医局 **5242**

救命救急科

責任者と診療スタッフ



科長／教授 和藤幸弘

【専門分野】救命救急、災害医療、集中治療

学歴／鳥取大学医学部卒

職歴／鳥取大学医学部麻酔科(1983年)、公立豊岡病院心臓血管外科(1985年)、鳥取大学手術部(1987年)、米国ピッツバーグ大学国際蘇生センター(1991年)、鳥取大学麻酔科助手(1992年～)、金沢医科大学麻酔科講師(1997年)、金沢医科大学救命救急科講師(1999年)、金沢医科大学救命医学助教授(2000年)、金沢医科大学病院救命医療センター部長(2004年)、金沢医科大学教授救命医学(2006年)

講師 真柴 智

【専門分野】
救命救急、集中治療

医師 林 信行

【専門分野】
救命救急、集中治療

医師 村坂憲史

【専門分野】
救命救急、集中治療

医師 盛田英樹

【専門分野】
救命救急、集中治療

医師 水沼真理子

【専門分野】
救命救急、集中治療

医師 後藤哲郎

【専門分野】
救命救急、集中治療

医師 中田麻里

【専門分野】
救命救急、集中治療

概要

救命救急科では救急車で受診された患者さま、急病および外傷の患者さまを24時間体制で診療しています。

時間外には専門各科直接紹介以外のすべての患者さまを診療し、年間約18,000例の外来受診総数(一次:88%、二次:10%、三次:2%)、1,800例の救急車搬入があります。各科の専門的診療や入院が必要な場合には専門各科と連携し、中毒、多発外傷、ショックなどは当科で集中治療管理を行っています。また、診療後には可能な限り、近医、かかりつけ医に逆紹介するよう努めています。

特徴・特色

当科では一次二次三次の救急区分に関係なく、軽症から最重症までの総合的な初期診療を行っています。休日時間外には他の医療機関との連携窓口機能を有しています。また、ドクターカーの積極的運用により、救急現場や緊急事態の発生した医療機関に直接医師を派遣します。

※緊急時にはご連絡ください。電話076-286-3511 内線5110

[専門外来一覧]

専門外来

診療日・時間

電話連絡先 **076-286-3511**(代表)
内線/外来受付 **5080** 医局 **5533**

病理診断科

責任者と診療スタッフ



医 師 黒瀬 望

【専門分野】
病理組織診断・細胞診断(血液・腎・消化器)

医 師 木下英理子

【専門分野】
病理組織診断・細胞診断(乳腺・婦人科)

教 授 野島孝之

【専門分野】
病理組織診断・細胞診断(骨軟部腫瘍)

医師(併) 佐藤勝明

【専門分野】
病理組織診断・細胞診断(神経・泌尿器)



科長／教授 渕 宏

【専門分野】病理組織診断・細胞診断(呼吸器・頭頸部)

学歴／金沢大学医学部・金沢大学大学院卒

職歴／石川県立中央病院病理科医員(1994)、石川県立中央病院病理科医長(1996)、金沢大学医学部附属病院病理部助手(1997)、金沢大学医学部附属病院病理部助教授(2003)、金沢大学医学部附属病院病理部長(2003)

概要

2009年4月より新設された科です。病理診断科では、病理組織診断、細胞診断、手術中の迅速診断などを行います。科の設立により「病理外来」として患者さんが摘出された自分の組織を見ながら、病変の広がりや性状を診断した病理専門医から直接説明を受けることができるようになりました。診断への信頼や病状への理解が深まり、安心して治療を受けられる患者さんが増加することを期待しております。主治医との充分なコミュニケーションをとりながら、できる限り患者さんのニーズを満たすように配慮して参ります。どうぞ気軽に受診をお勧めください。患者さんがスライドなどを持参してセカンドオピニオンを希望される場合には、診断を巡って混乱が起こらぬよう、患者さんへの説明に関して十分に

配慮していくつもりです。「病理外来」は予約制で、お電話等でご連絡下さい。

特徴・特色

- 日本病理学会コンサルタントである経験豊富な病理専門医が、直接患者さんに病理診断を説明いたします。
- ご希望によっては患者さんご自身の病理標本を写したカラー写真や顕微鏡写真をお渡しすることもできます。
- 病理専門医から説明を聞くと病気に対する理解が深まり、治療に積極的になることが期待されます。

[専門外来一覧]

専門外来	診療日・時間
■病理コンサルテーション外来	月～金 予約制

電話連絡先 **076-286-3511** (代表)
内線／外来受付 **5008** 医局 **5371**

歯科口腔科

責任者と診療スタッフ



科長／教授 濑上夏樹

【専門分野】顎顔面口腔外科全般

学歴／神奈川歯科大学・川崎医科大学大学院(口腔外科学)卒
職歴／神奈川歯科大学卒業(1979)、京都大学文部教官講師(医学部口腔外科学)(1989)、金沢医科大学口腔科学教授(1995)

准教授 吉村 弘

【専門分野】
有病者歯科、歯科インプラント

講師 金山景錫

【専門分野】
顎関節症、口腔腫瘍、顎変形症、歯科インプラント

准教授 出村 昇

【専門分野】
顎変形症、唇顎口蓋裂による咬合異常

医師 本庄美穂

【専門分野】
矯正歯科

概要

当科は口腔外科と矯正歯科の2部門より構成されています。国内外で口腔外科と矯正歯科を併設する医学部附属病院は当院を含めて2施設のみで、その特色を生かした診療を展開しています。口腔外科では顎関節症、顎変形症、顎骨骨折、口腔腫瘍、口腔インプラントを中心とした外科的治療、全身疾患有し高度のリスクを伴う患者さまの歯科治療を中心に行っています。特に顎関節症患者さまに対しては顎関節鏡視下手術を幅広く応用し低侵襲手術の開発、応用に努めています。また、智歯抜歯をはじめとする局所麻酔手術の際には静脈内鎮静法を併用し患者さまのアメニティーの向上に努めています。矯正歯科では顎変形症の術前・術後矯正治療、唇顎口蓋裂患者さまの矯正治療を中心に行っています。当科は顎変形症施設規準を受理されており外科的治療を前提とした顎変形症患者さまの術前・術後矯正治療には健康保険が適用されます。

特徴・特色

当科では顎関節症患者さま、習慣性顎関節脱臼患者さまに対して顎関節鏡視下手術により治療を行うことが可能です。

また、顎変形症患者さまに対しては単に顎顔面の形態の改善を目指すのではなく、顎の機能を重視し、口腔外科医と矯正歯科医の緊密なチームアプローチの下で治療を行っています。

[専門外来一覧]

専門外来

- 顎変形症外来
- インプラント外来
- 顎関節外来
- 口腔腫瘍外来
- 有病者歯科外来

診療日・時間

- | |
|---------|
| 月・火・木・土 |
| 月・火・木・金 |
| 火・木・金 |
| 火・木 |
| 火・木・金・土 |

電話連絡先 **076-286-3511**(代表)

内線／外来受付 **4101・4106** 医局 **7032**

21世紀集学的医療センター紹介

集学的がん治療センター
生活習慣病センター
健康管理センター
遺伝子医療センター
女性総合医療センター

21世紀集学的医療センター 集学的がん治療センター

責任者と診療スタッフ



センター長／教授 元雄良治

【専門分野】腫瘍内科学、消化器内科学、漢方治療

学歴／東京医科歯科大学医学部卒

職歴／金沢大学がん研究所附属病院内科講師(1992)、金沢大学がん研究所腫瘍内科研究分野助教授(2003)、金沢医科大学腫瘍内科学教授(2005)、金沢医科大学病院集学的がん治療センター長(2005)、金沢医科大学総合医学研究所分子腫瘍学研究部門教授(併任)(2005)

准教授 中島日出夫

【専門分野】

腫瘍内科学(がん化学療法)、免疫学

医師 中谷直喜

【専門分野】

腫瘍内科学(がん化学療法)

講師 島崎猛夫

【専門分野】

腫瘍内科学(がん化学療法)、医療情報学

概要

がんの診断・治療の進歩には目覚しいものがありますが、がん医療はなお多くの難しい課題を抱えています。

現在では、1診療科のみで行う治療体制をとることにはおのずから限界があります。適切な外科的治療とともに、近年の進歩が著しい腫瘍制御薬剤、ホルモン療法、分子標的薬、血管内投与技術、放射線照射技術などの専門分野の最新の知恵と技術を適切な形で導入することによって、個々の患者さまにとっての最良の治療を実施し、より良い結果に導く集学的治療を展開していく方針です。

特徴・特色

集学的がん治療センターは、外科療法、化学療法、放射線療法、などを行っている診療科と緊密に連携協力しながら、トレーニングされた腫瘍内科医が専用の治療室で化学療法を実施し、患者さまにとって心身両面で安全かつ優しい診療を最良のかたちで提供します。

- ①専任医師、専任看護師、専任薬剤師の配置で診療
- ②通院抗がん剤点滴治療(リクライニングチェア・ベッド)
- ③センター内の薬剤調製室での無菌調剤

④専用の採血システム

⑤予約処方箋システム・セットメニュー

⑥診療科との連携:がん化学療法はまず各臓器別診療科を受診の上、その診療科から院内対診の形で実施します。また、院外の病院や診療所とも連携します。

[専門外来一覧]

専門外来

診療日・時間

■化学療法外来

月～金

■一般外来・がん相談

土

電話連絡先 **076-286-3511**(代表)

内線／外来受付 **5611** 医局 **5324**

21世紀集学的医療センター 生活習慣病センター

責任者と診療スタッフ

准教授 堀 有行

【専門分野】

神経内科一般、てんかん

講 師 伊藤智彦

【専門分野】

糖尿病、内分泌疾患

講 師 中西由美子

【専門分野】

禁煙、肥満

非常勤講師 内田健三

【専門分野】

高血圧、糖尿病、副腎疾患、甲状腺疾患

講 師 上西博章

【専門分野】

循環器病一般

医 師 早崎央恵

【専門分野】

内科一般



センター長／教授 松井 忍

【専門分野】循環器病一般、高血圧、メタボリックシンドローム、高脂血症

学歴／金沢大学医学部卒

職歴／金沢医科大学助手(1974)、金沢医科大学講師(1977)、金沢医科大学助教授(1985)、金沢医科大学教授(1992)

概要

生活習慣病センターは生活習慣に関連して発症してくる動脈硬化性疾患の発症ならびに再発予防を目指します。すなわち、動脈硬化の発症・促進因子(危険因子あるいはリスクファクター)としての高血圧症、高脂血症(高コレステロール血症)、糖尿病、肥満、喫煙とこれらに続発する心臓病(狭心症・心筋梗塞)、脳血管障害(脳梗塞、脳出血)、末梢血管障害、腎臓病などの病態を診療対象といたします。近年の疾病動向から、このなかでも特に糖尿病、メタボリック・シンドローム、心臓病が診療の中心になると考えております。具体的には、高血圧、高脂血症、糖尿病、肥満、喫煙などの危険因子を有する受診者に対し、運動療法、食事療法、禁煙指導など生活習慣の

是正による疾病の発症・再発予防を診療方針の中心といたします。

特徴・特色

- 運動療法については、運動生理学の専門家(体育学教授)・運動療法士の協力のもと運動負荷試験を受けていただき、それに基づき受診者個々の有酸素運動レベル(運動能力)を科学的に設定し、至適な運動の種類、運動レベルを指導いたします。また、運動習慣の継続については地域にあるスポーツクラブ等の民間あるいは公的施設との提携しQOLを高める支援も行う予定です。
- 食事療法については、管理栄養士による栄養指導を行います。特に、日本の医療機関でも一部しか導入されていない簡易エネルギー代謝機器を用いエネルギー代謝量、基礎代謝量、筋量等の算出し、個人レベルの摂取エネルギー、栄養素量の指針が提供していきます。さらに運動療法による活性酸素レベル、抗酸ビタミン、ミネラル等を計測することにより、食事のタイミング、栄養補助食品(サプリメント)の摂取量等の実践的な栄養指導も併せて行います。
- 喫煙習慣を有する方には、当センター内に設けられている禁煙外来を受診いただき、経験豊富な専門医の下、薬物療法(自由診療)も含めた形で禁煙指導をいたします。専門医(内分泌・代謝・循環器)の診察の結果、軽症の場合は上記のような生活習慣の是正のみで経過観察いたしますが、中等症・重症の受診者には通常の薬物治療のもと生活習慣のはは正を行います。

[専門外来一覧]

専門外来	診療日・時間
■生活習慣病外来	月～土
■禁煙・肥満外来	月・火・木・金
■心臓病外来	月・水・金・土
■糖尿病外来	月・火・木・金・土
■女性外来	月～土
■脳と眠りの外来	水

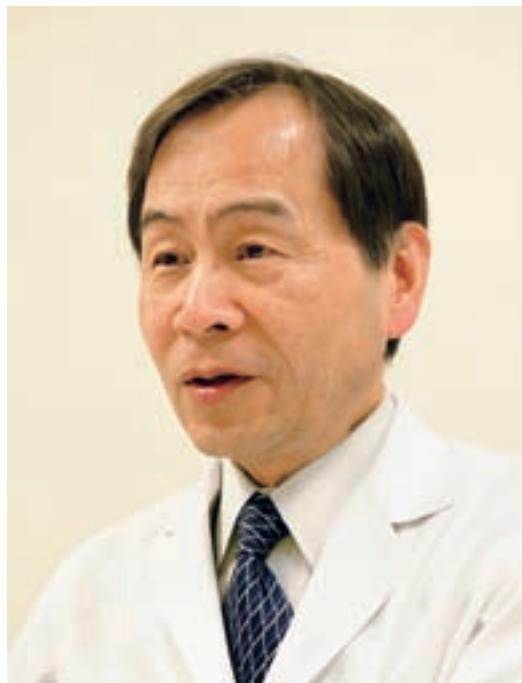
電話連絡先 **076-286-3511** (代表)

内線／外来受付 **5611** 医局 **5234**

21世紀集学的医療センター

健康管理センター

責任者と診療スタッフ



センター部長／教授（嘱託） 高瀬 修二郎

【専門分野】健康管理学、消化器内科学

学歴／金沢大学医学部卒

職歴／金沢医科大学助手(1972)、金沢医科大学講師(1975)、米国マウントシナイ医科大学客員助教授(1984)、金沢医科大学助教授(1988)、金沢医科大学教授(1993)、金沢医科大学健康管理センター教授・センター長(2008)

教授(嘱託) 松田芳郎

【専門分野】
健康管理学、消化器内科学

教授(併) 中川秀昭

【専門分野】
健康管理学、産業医学、公衆衛生学

教授(併) 森河裕子

【専門分野】
健康管理学、産業医学、公衆衛生学

准教授(併) 西条旨子

【専門分野】
健康管理学、産業医学、公衆衛生学

准教授(併) 石崎昌夫

【専門分野】
産業医学、健康管理学、衛生学

講師 中西由美子

【専門分野】
健康管理学、産業医学、公衆衛生学

講師(併) 櫻井 勝

【専門分野】
健康管理学、公衆衛生学

講師(併) 釘抜康明

【専門分野】
放射線医学

講師 中村幸志

【専門分野】
健康管理学、循環器病学

助教(併) 太田清隆

【専門分野】
放射線医学



教授 川原 弘

【専門分野】
健康管理学、消化器内科学

概要

金沢医科大学病院健康管理センターは人間ドックを担当し、年間約1,000名の宿泊ドック、1,500名の1日ドックを行っています。また、住民検診・企業検診を積極的に行って、地域住民ならびに企業社員の健康管理に協力し、さらには特定検診にも取り組んでいます。担当医師は、専任5名と兼任7名で、保健師ならびに栄養士とともに、近年ますます多様化し、ニーズが高まっている健康管理業務に対応しています。また4名の専任事務員が膨大なデータ管理に携わり、業務遂行の円滑化に寄与しています。なお、宿泊ドックには個室ないし2人室を確保して快適な環境を提供すると同時に、オプション検査を可能な限り受けることができるよう心がけ、より精度の高い健診の提供を目指しています。

特徴・特色

健康管理センターのスタッフに加えて、他の部門の技術者と、医療チームを作り、人間ドック受診者が「病気にならない生活習慣」を維持し、健康増進に役立ててもらえるよう助言します。また、PET-CTや3.0テスラMRなど最新の機器による検査を導入しています。

[専門外来一覧]

専門外来

診療日・時間

電話連絡先 **076-286-3511** (代表)

内線／外来受付 **7933** 医局 **6001**

21世紀集学的医療センター 遺伝子医療センター

責任者と診療スタッフ

<診療協力医師>	
医師(併任)佐藤仁志	客員教授 中泉裕子
【専門分野】 小児科学、小児神経学	【専門分野】 眼科学
医師(併任)伊藤順庸	准教授 田邊 洋
【専門分野】 小児科学、小児内分泌学	【専門分野】 皮膚科学
保健師 高瀬悦子	講 師 川村和之
【専門分野】 遺伝カウンセリング	【専門分野】 神経内科

<遺伝学的検査担当>	
総合医学研究所 助教 尾崎 守	
総合医学研究所 臨床検査技師 畑中久代	



センター長 新井田 要

【専門分野】臨床遺伝学、小児科学、小児神経学

学歴／金沢大学医学部・金沢大学大学院卒

職歴／金沢大学附属病院、小児科病棟勤務(1992)、金沢大学附属病院小児科外来勤務、神経遺伝外来担当(1995)、国立療養所石川病院アカシア病棟(重症心身障害児病棟)勤務、金沢大学医学部附属病院小児科外来での神経遺伝外来(通2回)は継続。金沢大学大学院終了。学位(医学博士)取得(1996)、金沢大学医学部小児科学教室助手、金沢大学附属病院小児科外来勤務、神経遺伝外来担当(1997)、城端厚生病院小児科医長(2001)、金沢大学医学部附属病院小児科助手。金沢大学大学院医学系研究科(血管発生発達病態学)講師(2002)、金沢大学医学部附属病院小児科講師(2007)、金沢大学子どものこころの発達研究センター 特任准教授(2008)

概要

遺伝子医療センターでは遺伝カウンセリングと、遺伝学的検査(遺伝子検査、染色体検査)を行っています。ご自身やご家族に生まれつきの病気や、遺伝性の病気がある場合、配偶者や子供たちにどのように説明したらよいか悩まれるかもしれません。結婚や出産を前に、同じ病気が子供にも現れるのか心配となることが多いと思います。遺伝子医療センターでは臨床遺伝専門医と専任の保健師が正しい遺伝学的知識をわかりやすく説明いたします。あなたの置かれた状況を整理し、悩みや心配事を解決する道筋を一緒に考えていきます。必要であれば遺伝子検査を行うこともできます。その際に生じる倫理的な問題を含めた様々な事柄に関しても対応しています。

お話をゆっくりお伺いするために、遺伝カウンセリングは完全予約制で行っています。事前に下記までご連絡いただき、ご予約をお取り下さい。カウンセリングは毎週水曜日の午後と、木曜日の午前・午後に行っております。

特徴・特色

静かなカウンセリングルームでじっくりお話を聞かせていただきます。心配事は何でも遠慮せずにご相談ください。カウンセリングにかかる費用は初回3150円、2回目以降は530円となります。また、遺伝学的検査(遺伝子検査、染色体検査)にかかる費用は検査の内容によっても異なりますが、1回あたり8000円程度となります。

申し込み先: 076-218-8308 (遺伝子医療センター直通)

または076-218-8319 (21世紀集学的医療センター受付)まで

[専門外来一覧]

専門外来	診療日・時間
■遺伝カウンセリング	水曜午後・木曜午前 午後(完全予約制)

電話連絡先 **076-286-3511** (代表)

内線/外来受付 **5172**

21世紀集学的医療センター 女性総合医療センター

責任者と診療スタッフ



センター長／教授 松井 忍

【専門分野】循環器病一般、高血圧、メタボリックシンドローム、高脂血症

学歴／金沢大学医学部卒

職歴／金沢医科大学助手(1974)、金沢医科大学講師(1977)、金沢医科大学助教授(1985)、金沢医科大学教授(1992)

助 教 赤澤純代
【専門分野】性差医療、アンチエイジング、漢方医学

講 師 中西由美子
【専門分野】禁煙、肥満

医 師 藤本由貴
【専門分野】呼吸器病一般、睡眠時無呼吸症候群



教授(併) 鈴鹿有子

【専門分野】めまい、難聴、耳鳴、中耳疾患、メニエール病

概要

人間には男性と女性の二つの性がありますが、それぞれがたいへんな違いをもっている。臓器そのものの違いもありますが、男性ホルモン、女性ホルモンといった違いがあることはだれでも知っている。女性には子供を妊娠して産み、育てて人類を繋いでいくという大切な任務がある。そのため思春期からは生理が始まり、妊娠・出産の準備をする。出産の後は育児、それを終えて、さらに更年期を迎え、老年期に入るまで、長い生涯に起こる女性特有の症状や病気はきわめて多様である。年齢だけでなく、生活スタイルの健康への影響も男性と大きく異なる。しかし、これまでの医療は女性の特性を踏まえた医療サービスとしては充分ではなかった。近年、男女の違いを考慮した“性差医療”に関心が高まってきた。性別によって病気の症状や治療法、効果が異なることがわかってきたからである。女性に特有の病気や発症率の高い病気などに着目し、予防や治療を行う女性の特性を考慮した診療体系の充実が求められている。さらにそれを請け負う医療側がすべて女性であるということにより、よりわかり合える医療が提供できると確信している。と同時に、女性の健康を支える環境の整備に目覚めるべきで、倫理面に加え、社会面での発達も必要とされる。

特徴・特色

“女性の生涯にわたる健康のサポートをめざして”
女性スタッフにより、女性の特有の身体・精神症状を総合的に診療し、必要に応じて専門治療への導入を支援することで、女性患者の皆様への医療サービスを提供します。

対象

・自律神経失調症状：立ちくらみ、めまい、冷え症等
・更年期症状：のぼせ、ほてり、頭痛、肩こり、動悸等
・精神的症状：不安、不眠、イライラ、うつ状態等
・胃腸症状：便秘、下痢
・肥満
・糖尿病
・乳がん
・子宮がん
・いびき、睡眠時無呼吸症候群
・アンチエイジング
・美容
・禁煙
・その他：骨粗鬆症、高脂血症、生理不順、女性の気になるあらゆる症状

[専門外来一覧]

専門外来

診療日・時間

電話連絡先 **076-286-3511** (代表)

内線／外来受付 **5611** 医局 **5231**

地域がん診療連携拠点病院の紹介

金沢医科大学病院がめざすがん診療連携拠点病院
患者さん中心の集学的医療の提供（内科・外科・放射線科の連携）
こころや体の痛みをサポート 緩和ケアの推進
切れ目のない医療の提供
がん相談支援センターの設置
院内がん登録の推進

金沢医科大学病院がめざすがん診療連携拠点病院

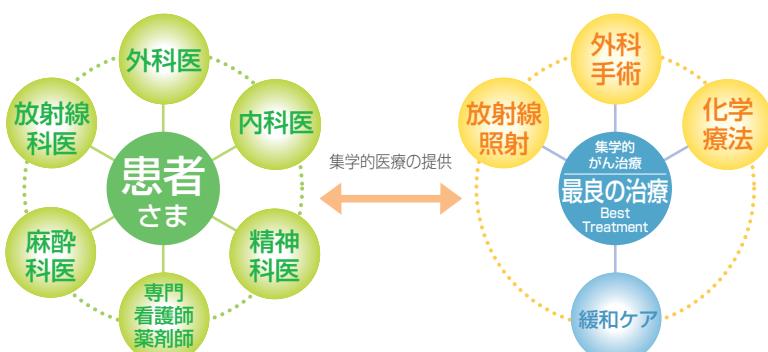
—— 高水準医療の提供と地域連携めざして ——



厚生労働省は、がん医療水準の「均てん化」（「均霑」と書き、生き物が等しく雨露の恵みにうるおうように、各人が平等に利益を得ることという意味）の実現に向け、地域における連携を図りつつ、質の高いがん医療を受けることができる体制を確保するため、『がん診療連携拠点病院』の設置を定めました。2006年にスタートした「がん診療連携拠点病院制度（平成18年2月1日 健発第0201004号厚生労働省健康局長通知／がん診療連携拠点病院の整備に関する指針に基づく）」は、2008年4月現在で全国351病院（地域拠点304、都道府県拠点47）が指定されております。（4年ごとに更新審査を受けます。）金沢医科大学病院は、集学的がん治療の実績が高く評価され平成19年1月31日付けで厚生労働大臣による「地域がん診療連携拠点病院（“かほく市及び中能登・北部能登”を主なエリアとして担当）」に指定されました。

石川県では本院と県立中央病院、国立病院機構金沢医療センター、小市民病院の4施設が「地域がん診療連携拠点病院」に、金沢大学附属病院が「都道府県がん診療連携拠点病院」に指定されました。

I. 患者さん中心の集学的医療の提供（内科・外科・放射線科の連携）



本院では、集学的がん治療センターが各診療科と双方向の連携を取りながら、患者さん中心の安全で質の高い集学的医療の提供をしております。治療の方針は、キャンサーバート形式の内科、外科、放射線科を含めた腫瘍カンファレンスを定期的に開催し、手術や放射線、化学療法などを効率的に組み合わせた最適な治療方法を決定し、最良のがん治療を提供しています。

集学的がん治療センターは、特定機能病院として複数種類のがんに対し化学療法を行う機能を有する部門として平成17年10月に病院本館2階にオープンし、院内外からの化学療法（抗がん剤治療）の依頼を受け、専任の医師・看護師・薬剤師がそれぞれの立場で患者さんの治療にあたっています。化学療法（抗がん剤治療）は、有効な新規薬剤の開発や副作用の予防・軽減処置（支持療法）の発達により、外来通院でも安全に行える時代になり、仕事や家庭での生活を維持しながら、有効な治療を受けられるようになりました。また、このような点滴治療の他、がんに関するセカンドオピニオン、がんの高危険群の患者さんの経過観察、原発不明癌などの検査もしています。対象となるがんの種類はとくに限定されませんが、とくに転移・再発癌や原発不明癌など、臓器別診療科では十分対処できないような状態の患者さんを、関連診療科と連携・協力しながら治療します。

外科的治療は、各学会や研究会のガイドラインに沿って標準的な外科治療を実施しています。放射線治療は、平成19年2月に竣工オープンした病院第2新館の画像診断センターおよび放射線治療センターに、PET-CTをはじめ、リニアック、前立腺がん密封小線源治療装置などの最新鋭の設備を導入し、ハード面からも、がんの早期診断や放射線治療の機能アップを図っております。



外科治療の風景



PET-CT

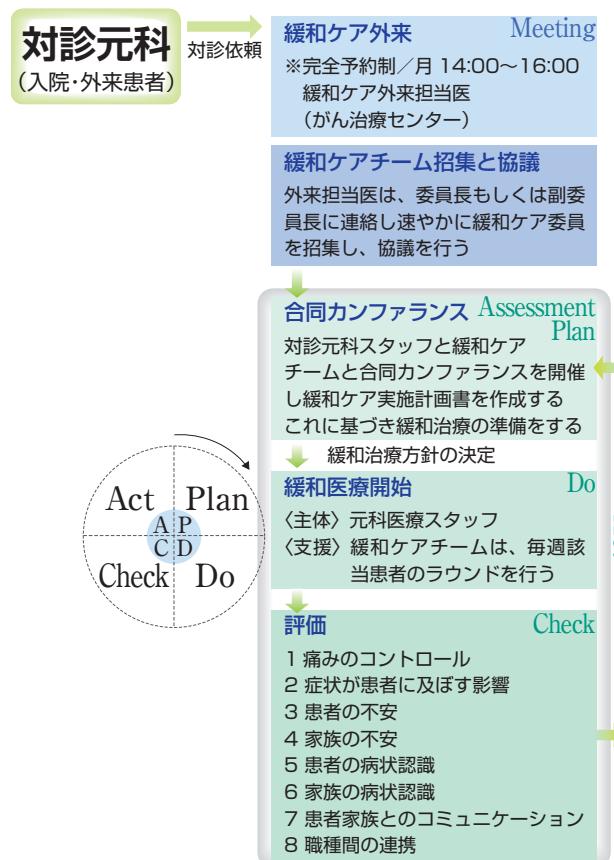
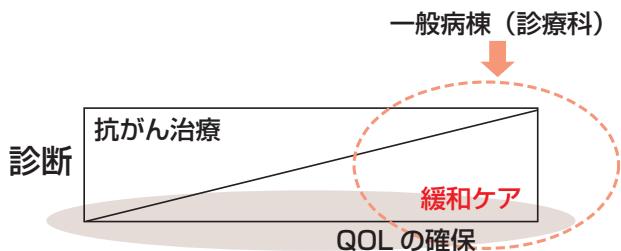


化学療法の風景

II. こころや体の痛みをサポート 緩和ケアの推進

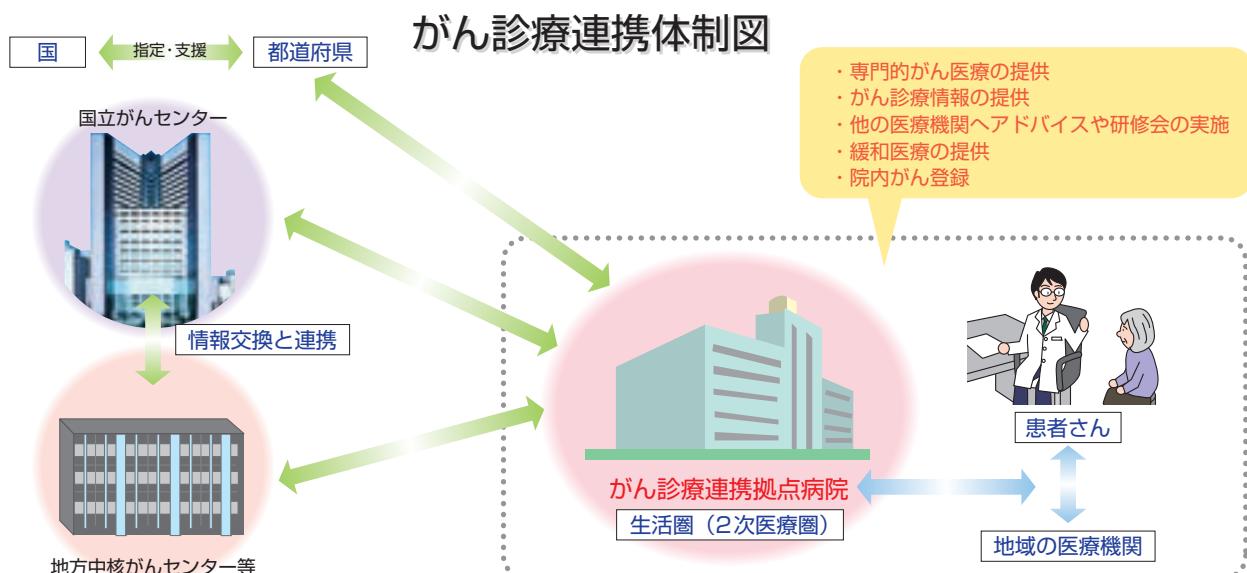
がん(こころやからだ)の痛みの除去など緩和ケアを治療の初期段階から行うことができる体制整備が求められています。本院では、長い歴史を持つ緩和ケア研究会を基盤にして全病院規模で組織的に患者さんの苦痛緩和に取り組む「緩和ケアチーム」を立ち上げ、各診療科スタッフと連携・協力し、緩和医療を提供しています。

緩和ケアチームは、初めてがんと診断された早い時期からがんに対する治療と並行して行うことをその方針として考えており、最終の目標を患者さんとご家族にとってできるかぎり望ましい生活の質(クオリティ・オブ・ライフ)を実現することに主眼を置き、対診元科に対して積極的にコンサルテーションを働きかけ、集学的緩和ケアを進めています。



III. 切れ目のない医療の提供

金沢医科大学病院は、内灘以北のエリアを中心にがん診療連携体制の構築を進めています。本院は、がん診療に携わる診療所や一般病院へ診療支援や研修を行うほか在宅医療との連携も推進するとともに、がん疾患の地域連携パスを徐々に構築しています。また、連携を強化するために、能登地区がん診療連携協議会を発足させ、切れ目ない医療を提供するための地域連携診療計画や研修計画を作成し、地域全体のがん医療水準を向上させる役割を担います。



＜がん治療における遠隔医療の実際例＞

能登北部医療圏 遠隔医療・地域医療連携システム

－本学と公立穴水総合病院との遠隔医療への取り組み－

医師不足が全国的に問題となっている中で、能登地区の医師不足をカバーする試みとして、金沢医科大学病院が今年から導入するのが遠隔医療・地域医療連携モデル事業-地域ICT (Information & Communication Technology) 利活用プロジェクトです。このモデル事業は、公立穴水総合病院が応募した総務省の補助金事業で、インターネットテレビ会議のシステムを使って行う「公立穴水総合病院-金沢医科大学病院・遠隔医療システム」です。

診療支援内容は、がん相談と化学療法支援、透析療法です。がん相談は、集学的がん治療センターの医師が事前予約制でがんに関する種々の相談を患者さんや家族から受けます。化学療法支援は、公立穴水総合病院の医師が化学療法を専門外としているため、化学療法施行中の患者さんの血液検査や抗がん剤点滴針の抜針などを、テレビ会議システムを使って集学的がん治療センター医師が指導します。公立穴水総合病院の医師にとっては本学の化学療法専門医のアドバイスを受けて治療できることにより安心感が生まれ、患者さんにとっては身近な病院の診察室に置かれたモニター画面を通して大学病院の専門医にも診断を受けられるメリットがあります。医療水準の向上と安心を提供するこのテレビ会議システムは、ボタンを押すだけでつながり、モニター画面に双方の様子が映し出され、電話のように会話ができます。

ICTを活用した金沢医科大学病院の「バーチャル出張診療」とも言え、今後能登地区の各病院に普及していくば、患者さんは自宅近くの病院で、その病院が専門外とする分野であっても、質の高い医療サービスが受けられ、能登地区全体をカバーする地域がん診療連携拠点病院として金沢医科大学病院がさらに機能することが期待されます。また、将来的には本システムを応用して、能登地区の各病院間や、能登地区と金沢地区の病院がそれぞれの得意分野に応じた内容で連携することにより、お互いにカバーしあうネットワークの構築も可能であり、“すべては、患者さんのために”第一歩を踏み出しました。

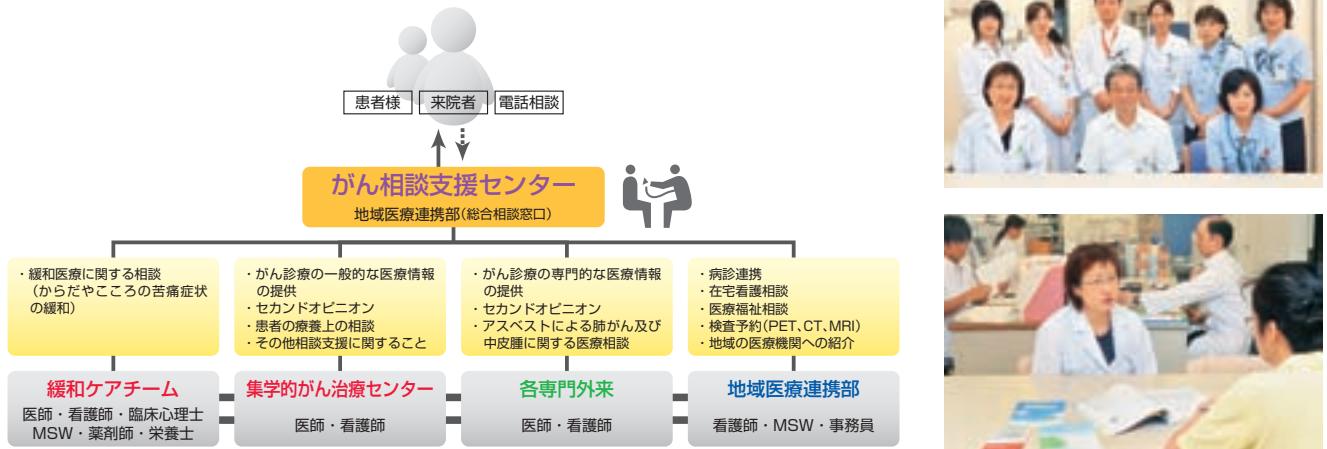
テレビ会議システムを利用したテレコンサルテーションがん相談や透析管理の支援を実現



IV. がん相談支援センターの設置

当院では、がん診療連携拠点病院に指定されて「がん相談支援センター(地域医療連携部を窓口)」を設置し、集学的がん治療センター、各専門外来、専門看護師、ソーシャルワーカー、臨床心理士等が連携して、国立がんセンターがん対策情報センターが提供する情報等をもとに患者・家族の相談支援や適切な情報提供を行っています。

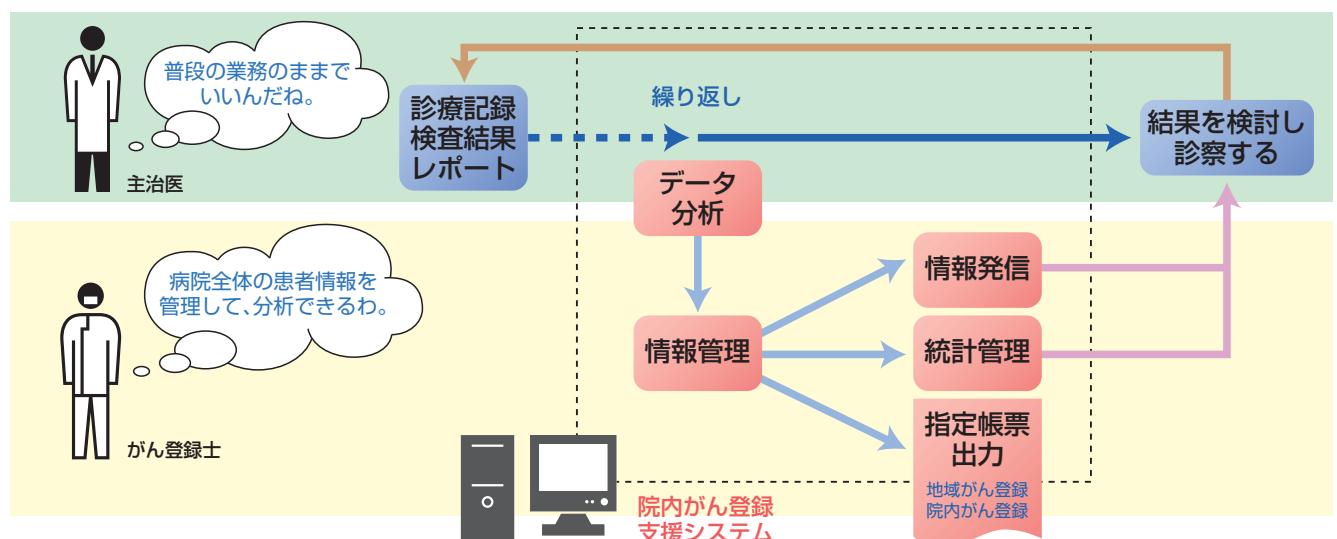
- ① 各がんの病態、標準的治療法等がん診療に係る一般的な医療情報の提供
- ② 地域の医療機関や医療従事者に関する情報の収集、紹介 ③ セカンドオピニオンの提示が可能な医師の紹介
- ④ 患者の療養上の相談 ⑤ 各地域における、かかりつけ医等各医療機関との連携事例に関する情報の収集、紹介
- ⑥ アスベストによる肺がん及び中皮腫に関する医療相談
- ⑦ その他、相談支援にすること



V. 院内がん登録の推進

本院は、従来から石川県が実施する地域がん登録事業へ積極的に参加・協力して、トップクラスの登録件数を維持してきておりますが、地域がん連携拠点病院の指定に伴い、厚労省の方式に準拠した院内がん登録を推進するとともに、精度の高いがん登録を効率的に実施するための電子カルテシステムと連携する金沢医科大学病院 院内がん登録支援システムを開発し、データを蓄積しています。

- 院内がん登録情報を使用して、施設のがん医療の向上と診療患者への支援を目指して、次のように利用されます。
- ① 院内がん患者の受療状況の把握
 - ② 院内がん患者の生存率の計測
 - ③ 施設の対がん医療活動の企画、評価のための資料提供
 - ④ 診療活動の支援、研究、教育のための資料提供
 - ⑤ がん医療の向上、がん予防の推進を目的とした研究の支援
 - ⑥ 診療患者の継続受診支援
 - ⑦ 地域がん登録、全国臓器別がん登録との連携



●参加可能な症例検討会・各種検討会一覧(平成21年度)

診療科名	症例検討会等名	開催日時		会 場	担当・問い合わせ先	
循環器科 循環器内科	抄読会	月	18:30~19:30	研究棟6階 循環器内科医局	赤尾(内線3206)	
	アンギオ検討会	火	18:00~19:30			
	クリニカルカンファレンス	水	8:15~ 9:00			
呼吸器内科 呼吸器内科	症例検討会	火	17:30~19:00	研究棟5階呼吸器内科医局	長内(内線3528)	
	臨床・病理合同検討会	火	17:30~19:00 (1回/月 不定期)			
	抄読会	月~金	8:30~ 9:00	研究棟5階呼吸器内科医局		
消化器科 消化器内科	画像カンファレンス	水	19:00~20:30 (2回/月 隔週)	研究棟2階放射線科医局	土島(内線3524)	
	症例検討会	水	16:00~18:00	研究棟5階消化器内科医局		
	内視鏡・肝生検検討会	水	18:00~19:00			
腎・泌尿器科 腎臓内科	消化器合同カンファレンス	隔週水	18:00~19:00	事前連絡	横山(内線3401)	
	抄読会	金	8:15~ 8:50	研究棟7階腎臓内科医局		
	症例検討会	木	17:30~			
内分泌・代謝科	腎組織カンファレンス	水	16:30~17:30 (隔週)	中川(内線3309)		
	抄読会	月	8:30~ 9:00		研究棟7階内分泌代謝科医局	
	症例検討会	月	17:00~18:00			
血液・リウマチ 膠原病科	カルテ回診及び新患紹介	月	9:00~10:00	研究棟5階血液免疫内科医局	正木(内線3532)	
	カルテ回診及び病棟回診 定例カンファレンス 症例 検討会、抄読会	木	8:30~15:00			
	症例検討会	火	8:30~	新館6階東病棟脳神経センター		
脳脊髄神経科 神経内科	抄読会	火	17:30~	研究棟7階神内医局	長山 成美 (内線3504)	
	合同症例検討会	水 (第2・4)	17:30~19:00 (脳神経外科合同)	神経内科医局 又は脳神経外科医局		
	他職種症例カンファレンス	月	13:30~14:30	別館4階 カンファレンスルーム	中橋(内線6513)	
高齢医学科	抄読会・検討会	月	16:00~17:00	研究棟9階高齢医学科 カンファレンスルーム	土屋(内線6517)	
	リサーチミーティング	水	8:00~ 8:30		中橋(内線6513)	
	抄読会	木	18:00~18:30	研究棟2階小児科医局	岡田 (内線3224)	
小児医学科 小児科	地域連携症例検討会		2月・6月・11月 第3土曜日 19:00~	病院新館12階会議室		
精神医学科 神経科精神科	抄読会	火	15:00~16:00	研究棟4階 神経科精神科医局	渡辺(内線3438)	
	症例検討会	火	16:00~19:00			
精神医学科 心身医学科	抄読会(精神科合同)	火	15:00~16:00	研究棟4階 神経科精神科医局	渡辺(内線3438)	
	症例検討会(精神科合同)	火	16:00~17:00			
放射線科	抄読会	木	18:00~18:30	研究棟2階 放射線科医局	谷口(内線3236)	
	フィルム・カンファレンス	木	18:30~19:30			
循環器科 胸部心臓 血管外科	抄読会	木	20:00~21:00	研究棟1階 胸部外科医局	秋田(内線3144)	
	症例検討会(小児循環器)	木	19:30~20:00			
	循環器内科合同症例検討会	火	18:30~			
呼吸器科 呼吸器外科	症例検討会	月	8:15~	新館7階東 カンファレンスルーム	佐久間(内線5721)	
	肺癌カンファレンス	水	18:00~ (2回/月)			
消化器科 一般・消化器外科 乳腺・甲状腺外科	症例検討会	火・木	8:00~ 9:00	新館8階西 カンファレンスルーム	中野(内線3127)	
	抄読会	火	17:00~18:00	研究棟1階 一般消化器外科医局	木南(内線3127)	

診療科名	症例検討会等名	開催日時		会 場	担当・問い合わせ先
整形外科 (骨・関節・脊椎・ 末梢神経)	術前症例検討会	月	17:00~19:00	研究棟2階 整形外科医局	藤田(内線3213)
	抄読会	月	18:30~		
	術後症例検討会	木	8:00~ 9:00		
	月例症例検討会	月(第2)	19:30~21:00		
脳脊髄神経科 脳神経外科	症例検討会	水 (第2・4)	17:30~19:00 (神経内科医局)	脳神経外科医局 又は神経内科医局	飯田(内線6503)
	抄読会	水	19:00~20:00	研究棟8階 脳神経外科医局	
形成外科	症例検討会	火・木	8:10~	研究棟8階形成外科医局	島田(内線6526)
		水(第4)	17:00~		
小児医学科 小児外科	術前症例検討会・抄読会	月	19:00~	研究棟9階小児外科図書室	増山(内線6533)
	手術症例・問題症例検討会				
眼科	症例検討会・抄読会・勉強会	水	19:00~	教授室	佐々木(内線3411)
	リサーチミーティング	第1・3水	20:30~24:00		
耳鼻咽喉科 頭頸部外科	症例検討会	月	18:00~20:00	研究棟4階耳鼻咽喉科医局	堀口(内線3423)
	抄読会	月	17:30~18:00		
皮膚科	症例検討会／組織検討会	火	16:00~18:30	研究棟3階皮膚科医局	望月(内線3324)
	オープンカンファレンス	最終火	19:30~21:00		
腎・泌尿器科 泌尿器科	腎移植合同カンファレンス	火	17:30~18:00 (不定期)	病院4階 C42講義室	森山(内線3314)
	症例検討会(抄読会)	火	18:00~19:30	研究棟3階 泌尿器科セミナー室	
	放射線科・病理 合同カンファレンス	火	18:00~19:30 (1回/月 不定期)	病院4階 C42講義室	
	手術症例検討会	火・金	8:00~ 9:00	新館5階西 臨床実習室	
産婦人科	症例検討会	月	17:30~	研究棟3階 産婦人科医局 病院4階 C42講義室	富澤(内線3335)
	周産期合同カンファレンス	月	17:30		
	教育レクチャー	月	17:30~		
	放射線科・病理 合同カンファレンス	水 (第3)	18:00~		
総合診療科	抄読会・症例検討会	月	17:30~	研究棟10階 総合診療科医局	山川(内線3843)
麻酔科	症例検討会	毎日	8:00~ 8:15	新館3階 中央手術室 カンファレンスルーム	白石(内線3131)
	抄読会	火 木	8:15~ 8:15~		
	関連病院 合同カンファレンス		年1回 不定期		
内視鏡科	症例検討会	火	18:00~	病院2階 内視鏡科医局	伊藤(内線5242)
リハビリテーション 医学科	リハビリテーション 総合計画会議	火	16:00~17:00	リハビリテーションセンター ADL室	影近(内線3210)
	症例検討会	木	17:30~	病院4階 リハビリテーション 医学科医局	
	抄読会、症例発表会	火 (第2)	17:30~		
	回復期リハ病院カンファレンス	月・水・金	15:00~	病棟6階 カンファレンスルーム	
救命救急科	症例検討会	月・金	9:00~	別館1階 救命救急科医局	和藤(内線5532)
歯科口腔科	症例検討会	火	18:00~	研究棟10階 歯科口腔科医局	金山(内線7032)
生活習慣病 センター	症例検討会	第2・4水	16:00~17:00	21世紀集学的医療センター カンファレンスルーム	松井(内線8841)

地域医療連携部の紹介

紹介システム
紹介に関するお問い合わせ先
本院へのご意見等について
セカンドオピニオン外来のご案内
検査予約システムのご案内
金沢医科大学病院登録医制度のご案内

地域医療連携部の紹介

地域医療連携部には、地域医療連携を担当する部門として地域医療連携事務課を設置いたしております。地域医療連携事務課では、ご紹介いただいた患者さまの受付業務・紹介元医療機関と各外来との連絡調整・紹介元への受診報告・返書(結果報告)・経過報告、逆紹介などの情報管理等の業務を担当し、紹介患者さまの受け入れ及び当院から紹介元医療機関や地域医療機関への逆紹介を円滑に行うために鋭意努力いたしております。当院の紹介システムについての概要は下記のとおりとなります。

■患者紹介システム

●本院所定の紹介状3枚複写使用の場合

1枚目→FAX送信用紙、紹介元医療機関控え

2枚目→金沢医科大学病院提出用(カルテ用)

3枚目→金沢医科大学病院提出用(地域医療連携事務課用)となっております。

●貴院では[2枚目]と[3枚目]を当院紹介用封筒に入れ、病院本館1Fの「紹介状受付」へ提出されるよう、患者さまに持たせてください。

●[1枚目]は貴院カルテ用控えとなります。これに基づき保険請求(診療情報提供料)を行ってください。

●紹介状につきましては、貴院専用様式のものでも差支えありません。

●本院所定紹介状・封筒につきましては、地域医療連携事務課にご連絡いただければ直ちにお送りします。

●なお、ご紹介いただける患者さまの情報は、下記により、あらかじめ地域医療連携事務課にFAXか電話でご連絡いただければ、受付が簡素化されます。

●電話又はFAXを利用される場合

紹介状を患者さまに持たせなかった場合でも、受診予定日までに地域医療連携事務課へ受診日、患者氏名、診療経過などをFAX又は電話にてご連絡くだされば、ご連絡いただいた情報を基に、地域医療連携事務課でカルテ・診察券を作成し、診察予約させていただきます。

この場合におきましては、診察開始までに紹介状をFAX等でお送りいただければ紹介扱いといたします。

■紹介に関するお願い

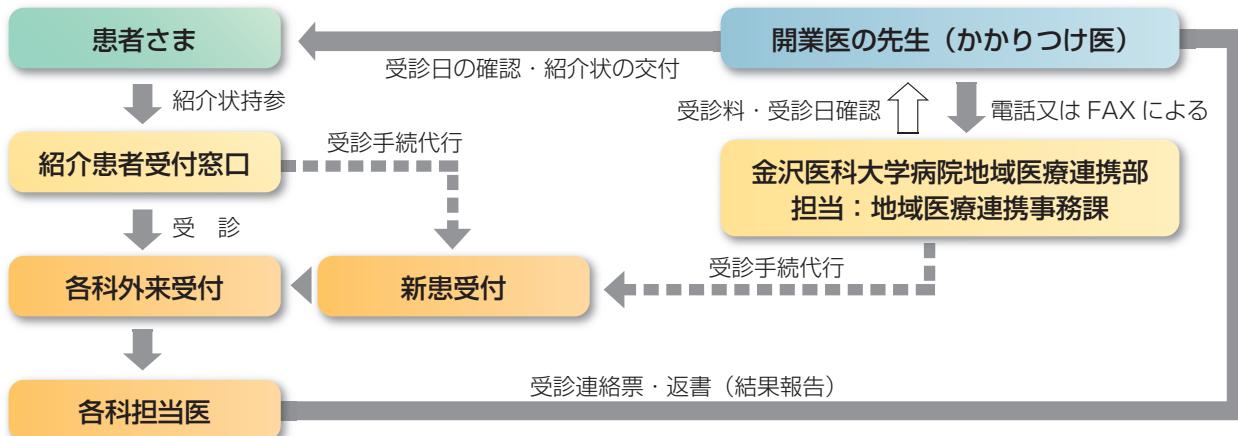
貴院から当院に患者さまをご紹介いただきます際に

①緊急に入院の必要があると思われる。

②感染に配慮する必要があると思われる。もしくはその疑いがある。

以上に該当する場合におきましては、受入体制や空床状況等につき診療科に確認する必要がありますため、事前に地域医療連携事務課に、ご一報いただけますようお願いいたします。

また、上記に該当する、診療時間外のご紹介につきましては、当院の救急医療センターに事前連絡をいただけますよう、お願いいたします。



■紹介に関するお問い合わせ先

地域医療連携事務課(紹介状受付)

業務時間 平日8:30~16:45 電話 076-286-3511 内線6004・6005

土曜日8:30~12:30 076-218-8219(直通)

FAX 076-286-6614

※なお、紹介状の様式は当院のホームページからもダウンロードが可能です。

URL (<http://www.kanazawa-med.ac.jp/~hospital/medical/relation.html>)

■本院へのご意見等について

本院に対するご意見やご希望につきましては、地域医療連携部が承り、直ちに病院長に連絡のうえ、直接の指示により、善処、ご回答するというシステムとなっております。

どんな小さなことでも構いませんので、何かお気付きの点があった場合、以下にご連絡いただけますようお願いいたします。

地域医療連携事務課 電話 076-286-3511 内線6000・6005

076-218-8219(直通)

FAX 076-286-6614

E-mail address : regional@kanazawa-med.ac.jp

セカンドオピニオン外来のご案内

本院では、平成18年4月からセカンドオピニオン外来を開始しております。

概要は以下のとおりとなりますので、ご協力をいただきますようよろしくお願ひいたします。

- (1) セカンドオピニオン外来は、完全予約診療となります。診療時間は1時間を中心とし、自費診療となります。料金は15,750円（税込）です。
- (2) セカンドオピニオンを希望される患者さまは、事前に本院の紹介受付、受診相談受付、地域医療連携事務課でご相談のうえ「セカンドオピニオン診療申込書」をご記入・ご提出いただき、診療予約等を行います。ご本人の受診を原則としますが、同意書があればご家族の受診も可能とします。
- (3) セカンドオピニオン外来では、持参いただいた診療情報提供書、各種検査結果等により診療を行い、本院での新たな検査や治療は行いません。また、患者さまには、元の医療機関に戻っていただくことを原則といたします。
- (4) 受診受付・お問合せは、地域医療連携事務課宛にお願いいたします。

※なお、セカンドオピニオン外来については当院のホームページからも検索や申込書等のダウンロードが可能です。

URL (<http://www.kanazawa-med.ac.jp/~hospital/outpatient/second.html>)

PET-CT、MRI、CT、US等の検査予約システムのご案内

本院では、PET-CT、MRI、CT、USにつき、電話で即時予約が可能なシステムを運用しております。

概要は以下のとおりとなりますので、ぜひご利用をいただきますようよろしくお願ひいたします。

- (1) 上記の検査につき、必要が生じたときに地域医療連携事務課宛にお電話いただければ、即時、検査予約の空きを調べ、可能な限り、患者さまのご都合に合わせた検査予約をお取りいたします。
- (2) ご予約いただいた患者さまには、医療機関経由で「検査予約票」をFAXいたします。
- (3) 検査当日、患者さまには「検査予約票」、「診療情報提供書」及び「問診票」(PET-CTのみ)をご持参いただき、検査開始時刻の20分前までに病院1階の紹介窓口におこしください。
- (4) 検査結果につきましては、当日または翌日までに紹介元医療機関にお送りいたします。

※なお、検査申し込み書等は当院のホームページからもダウンロードが可能です。

URL (<http://www.kanazawa-med.ac.jp/~hospital/medical/relation.html>)

金沢医科大学病院登録医制度のご案内

本院では平成3年4月から「金沢医科大学病院登録医制度」を実施しております。

この制度の骨子は、地域の医療の最前線で活躍されている病院や開業の医師・歯科医師各位との連携を一層円滑にして地域医療の発展に寄与するとともに、お互いにそれぞれの生涯学習に資することにあり、現在、54名の方が登録医として活動しております。

この制度では、登録医は本院のスタッフとともに、症例検討会・各種研究会、病棟回診などに参加できるほか、本院の高機能施設、具体的には平日の午後を中心にオープン外来として外来診察室を利用して貴院に通院されている患者さまを、本院のPET-CT、MRI、CT等を利用して診察を行っていただける他、手術などにも積極的に参加していただき、図書館その他の学内施設を有効に利用していただけることになっております。

また、この制度の趣旨とするところは、本学病院のマンパワーと諸施設を開放し、地域の医師・歯科医師の皆様と本学病院スタッフとのお互いの交流を促進することにあります。

それによってお互いの生涯研修にあたっての実をあげるとともに、地域の患者様への医療サービスの質を向上させることができが可能となり、ひいては本院の地域医療における役割分担の確立に資することになるものと考えております。

本登録医については登録料は不要です。紹介された患者様は、本学病院で診療が行われる間は本学病院の患者様として登録され、また、本学病院内で、万一、医療事故が起こった場合も、登録医ご本人の重大な過失でない限り、本学病院が責任を持つことになります。

登録の詳細や申請書の請求につきましては、病院職員課（内線5040）にお問合せ願います。

病院概要

病院名／金沢医科大学病院

所在地／〒920-0293 石川県河北郡内灘町大学1丁目1番地

電話番号／076-286-3511 (代)

FAX番号／076-286-2372 (管理課)

076-286-6614 (地域医療連携事務課)

病院長／飯塚 秀明

病床数／835床

診療科／33科

●診療受付時間と休診日

診療受付時間 (医科) 平日 午前8時30分～午後1時

土曜日 午前8時30分～正午

(歯科) 平日 午前8時30分～午前11時、午後1時30分～午後2時30分

土曜日 午前8時30分～午前11時

診療開始時間／午前9時から (初診時を除き、次回以降の再来受診は時間予約制となっております)

休診日／土曜日の午後、日曜日、祝祭日、年末年始 (12月29日～1月3日)、

大学開学記念日 (6月1日 (※当日が日曜日の場合、6/2振替休日))、

旧盆 (8月15日)

●施設基準の規定にもとづく年間手術実施件数

・区分1に分類される手術

		手術件数
ア	頭蓋内腫瘍摘出術等	85
イ	黄斑下手術等	170
ウ	鼓室形成術等	17
エ	肺悪性腫瘍手術等	49
オ	経皮的カテーテル心筋焼灼術	73

・区分2に分類される手術

		手術件数
ア	靭帯断裂形成手術等	5
イ	水頭症手術等	28
ウ	鼻副鼻腔悪性腫瘍手術等	5
エ	尿道形成手術等	21
オ	角膜移植術	3
カ	肝切除術等	16
キ	子宮附属器悪性腫瘍手術等	6

・区分3に分類される手術

		手術件数
ア	上顎骨形成術等	10
イ	上顎骨悪性腫瘍手術等	8
ウ	バセドウ甲状腺全摘出(亜全摘)術(両葉)	3
エ	母指化手術等	0
オ	内反足手術等	0
カ	食道切除再建術等	8
キ	同種腎移植術等	8

・その他に分類される手術

	手術件数
人工関節置換術	246
乳児外科施設基準対象手術	4
ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術	69
冠動脈、大動脈バイパス移植術(人工心肺を使用しないものを含む。)及び体外循環を要する手術	93
経皮的冠動脈形成術、経皮的冠動脈血栓切除術及び経皮的冠動脈ステント留置術	417

(平成20年1月～12月)

※特掲診療料の施設基準：医科点数表第2章第10節手術の通則5及び6に掲げる手術

●高度先進医療

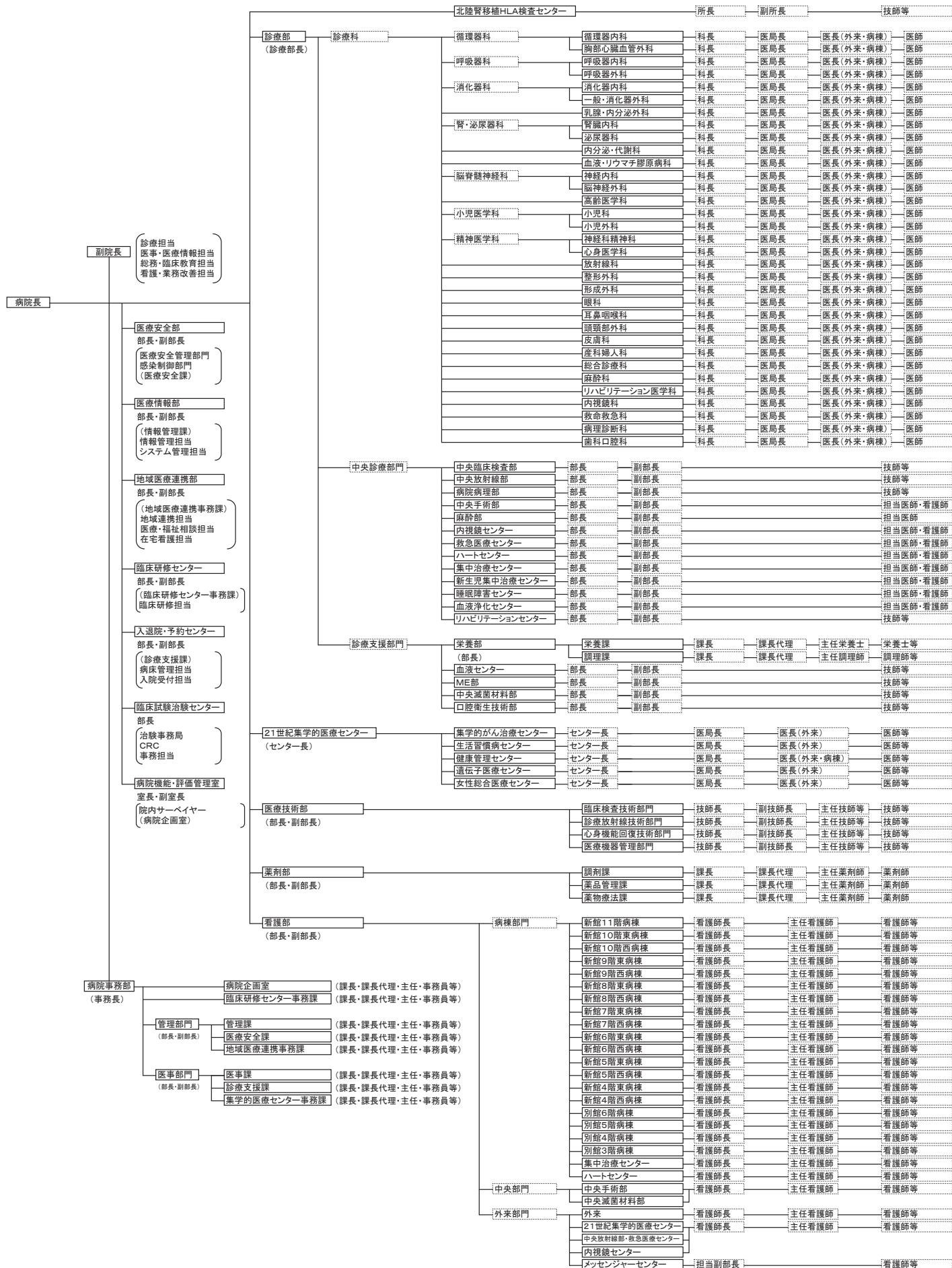
本院は高度な技術をもった医療スタッフと医療設備を備えた高水準の特定機能病院としての承認を受けております。現在、その安全性と有効性が確立された高度先進医療として、下記の医療を実施しております。

高度先進医療の内容	適 応 症	担当診療科名
経皮的レーザー椎間板切除術 (内視鏡下)	椎間板ヘルニア	整形外科
インプラント義歯 (悪性腫瘍手術後の顎骨・歯牙欠損例)	従来の床義歯では咀嚼機能の回復が困難な症例等	歯科口腔科

●最先端診断・治療機器群

- ◆ PET-CT
- ◆ MRI (磁気共鳴画像診断装置)
- ◆ CT (64型マルチスライス CT 装置)
- ◆ DSA (デジタル血管造影装置)
- ◆ GC/MS (ガスクロマトグラフィーシステム)
- ◆ FCR (コンピュータX線診断システム)
- ◆ 核医学診断システム ◆ デジタル化画像処理蓄積検索システム ◆ 臨床検査・総合血液化学分析診断システム ◆ 循環器データ解析センターシステム ◆ 外部放射線治療システム (リニアック) ◆ 体外衝撃波結石破碎装置 ◆ X線集光照射システム ◆マイクロセレクトロン・アフターローディングシステム ◆ 手術用ナビゲーションシステム ◆ 前立腺がん密封小線源挿入治療装置

●金沢医科大学病院組織図 (平成21年6月10日現在)



アクセスマップ



交通のご案内

●電車

JR金沢駅そばの北鉄金沢駅から内灘駅まで30分おきに電車があります。

●バス

兼六園下から金沢駅経由、「医科大学病院行」の北鉄バスが運行されています。

香林坊から木越団地経由、「医科大学病院行」の北鉄バスが運行されています。

JR津幡駅、JR宝達駅から本学の「病院バス」を運行しています。

北鉄内灘駅から、「医科大学病院行」「総合公園行」バスが約30分おきに運行されています。

JR金沢駅～能登方面の特急・急行バスが金沢医科大学病院経由で運行されています。

●自家用車

北陸自動車道路をご利用の方は、金沢東インターチェンジ若しくは金沢西インターチェンジで降りて国道8号線田中交差点からお越し下さい。(金沢東インターチェンジから約20分、金沢西インターチェンジから約30分)

富山方面から国道8号線をご利用の方は、津幡検問所を右折し、最初の信号機を左折してそのまま直進でお越し下さい。(津幡検問所から約20分)

病院患者用駐車場の利用について駐車場入口で駐車券が発行されます。患者さん、お見舞いの方は病室案内、総合案内、防災センターのいずれかで駐車券に無料認証を受けて下さい。

特定機能病院

金沢医科大学病院

〒920-0293 石川県河北郡内灘町大学1丁目1番地

☎076-286-3511(代)

ホームページアドレス <http://www.kanazawa-med.ac.jp/>

地域医療連携事務課メールアドレス regional@kanazawa-med.ac.jp